滿洲日報
夕刊
五月十三日

不平等條約撤廢宣言けふ國民會議で可決

一切の不平等條約を承認せず完全なる平等と自由とを獲得

【南京十三日發至急報】不平等條約即時撤廢宣言は本日午前十時半國民會議本會議を通過した、宣言決議内容左の如し

不平等條約は國際正義に反するにより、支那は公理公論に基き**一切の不平等條約を承認せず**政府は故孫總理の遺訓を奉じ**最短期間内に國際上の完全なる平等と自由とを獲得す**べし、各宣言に對し支那民衆は如何なる困難犠牲をもいとはざる堅き決意あることを宣言す

廢約宣言案 修正内容

【南京特電十二日發】廢約宣言草案は十三日第五回大會に上程可決の上即日發表の豫定だが具體的過激に亘る具體の草案は對外的關係を考慮し根本的に修正を加へられた一見非常に強きもの丶如く見えるが要所々々は強い表現なるも融通自在の餘地を殘してある支那文の千數百字に亘る頗る長文で外部的に不平等條約の害毒を說き孫總理の遺囑に依り廢棄を宣言せざるを得ないと力み最後にこの趣きを國府に廻付して最短期間内に決行せよといふにある

國民會議で可決の新約法の内容

訓政期の治國大綱

【南京十二日發】本日國民會議を通過した約法は過渡期に在る中華民國の憲法であるため民國今後の建設統一事業方針及び立黨制度に至る迄の治國綱領を含む點において列國の憲法と異るが

第一章總則　領土主權政體國旗國都の規定
第二章　人民の權利義務
第三章　訓政綱領（地方自治國民大會、國民黨中央執行委員會、國民政府）
第四章　國民の生計
第五章　國民敎育（國民經濟、敎育方針の規定）
第六章　中央と地方の權限
第七章　政府組織
第八章　約法の解釋效力

の八章に分れ斯くて現國民政府は形式的に全國民の支持を受けた正式代表機關となつた

民衆的色彩は濃厚となる

從來の五院制度の危險除去　副島博士の約法批判

【南京特電十二日發】民國二年約法制定當時も南京に在り、今回の約法制定にも種々意見を述べた國民政府法律顧問副島博士は本日通過した約法を批評して語る

今回の約法は大體ドイツの憲法に似てをり人民の權利、國民の生活、敎育等に關する諸點が面白い、民國二年の約法は大總統に至上權力を授けて殆んど專制的なものであつたに比し今回は國民黨が認めた中央執行委員が選んだ政府主席に

獨裁制を授ける形を執り更に民衆的色彩を濃厚にしてゐる今回の約法は過渡的なものだから必要なれば改正出來る譯だ・約法と日本その他の憲法との相違は議會制度では内閣とともに政策が變るがこの約法では政權が國民黨部にのみ存し政策は變らぬ、約法には兵役、勞役の義務があるが各國憲法には勞役がない、國都を南京と極めたのは國家の基礎鞏固となつたのを表はし人心安定の效果がある、約法では如何にも官僚主義に陷るの觀があるが

五院制度によりその危險は逃れられる、約法は訓政期だけで永遠性なく今の現狀に適應するのを主眼としてゐる、凡ゆる施設は將來法律を以て極めるのだから漸次完成するだらう支那の現狀から觀て先づ當を得たものと思ふ

約法實施期 十月十日と決定

【南京特電十二日發】約法實施期は十月十日と決定した、追つて國民政府命令で公布の筈

元勳御優遇の思召 三氏に御陪食

【東京十三日發】天皇陛下は元勳御優遇の思召を以て十三日夕六時より宮中御内儀に前官禮遇山本達雄男、内田康哉伯、犬養毅氏を召され御晩餐御陪食を仰付けられる旨仰出された

湖南、湖北の共匪被害

【南京特電十二日發】本日の國會で何應欽氏の報告した湖南江西の共匪被害は左の如し

▲江西省　人民の慘殺された者十八萬六千名、人民の流浪するに至つた者二百十萬人、家屋の破壞掠奪されしもの十萬餘戶、財產損害六億五千萬元、穀類の被害八千九百萬ピクル

▲湖南省　慘殺されし者七萬二千人、家屋の破壞掠奪されしもの十二萬餘戶、財產損害三億萬元

江西省の全省八十一縣の中共匪に完全に占領されしもの十一縣外ご大部分を占領されたもの二十五縣

廣東派に和解勸告

張學良氏仲裁役となる

【南京十二日發】張學良氏は今朝廣東の陳濟棠氏に對し反革命軍閥の轍を履む勿れ、大局に顧み速かに中央の命に服し和衷協同國家のため盡力されよ

との長文の講話勸告電報を發した張學良氏が留男に表面に出た事は和平解決促進に多大の力を添へるものと見られてゐる

廣東討伐を滿場一致で決定

國民會議後積極行動

【南京特電十二日發】蔣介石氏が廣東時局和平解決を斷念し討伐に決定した事は既報の通りだが昨夜南京中の將領二十餘名を召集して意見を聽取した處滿場一致廣東討伐に決定した、蔣氏は國會終了後直に討伐軍を發し積極的行動に出る事に決定した

北方態度を監視

中央將校團秘に赴津

【天津特電十三日發】廣東問題から蔣介石氏は北方の形勢に細心の注意を拂ひつゝあるもの丶如く命を受けた朱謙良、王譯、李振龍氏等十數名の將校團は窃に入津し佛租界の各旅館に分宿し次の如く調査しつゝあり

▲第一班　山西軍の動靜、兵力並に馮玉祥、石友三氏の行動
▲第二班　平津在野政客武人の動靜並に反動派の行動
▲第三班　東北軍の兵力、奉天兵工廠の内容、武器購入の有無等

王寵惠氏辭任

【上海十三日發】確報によれば司法院長王寵惠氏は昨日國府に辭表を提出した、なほ王氏は來月半ば發七月末ヘーグに開會の國際裁判所臨時會議に出席するといつてゐる【寫眞は王氏】

反蔣運動警戒 訓電

廣東に擧げられた反蔣運動については東北四省で附和雷同するものがあつてはとの意嚮から南京の張學良氏から留守司令に對して大要左の意味の訓戒電を發して來た

國家は將に泰平の朝に到達しつゝある、各地に蟠伏してゐる反動分子等は暗に機會を作ることのみ考へ、强隣は法權回收に反對し□會を設けて口實を作らうとしてゐる危險あり、これらの状況を知悉し國家の政治が正當なるコースをとつてゐる際であるから妄に揣摩臆測してはならぬ、各自その分を守り濫に虛妄の言を成しめ公安の秩序を保持し、若し紊亂するものあれば嚴罰に處せ【奉天電話】

陳銘樞氏着滬

【上海特電十三日發】陳銘樞氏は秘書楊建平氏等を從へ昨日午後二時英國汽船カシユミア號で當地に來着出迎への孫科文氏其他政府要人等も自動車を連れて滿洲旅館に赴き小憩後午後七時過ぎ佛租界に在る前廣東公安局長歐陽榮氏宅に投宿在滬廣東要人集合して廣東事件に關し種々協議する處あつた因みに陳銘樞氏は日本に行く心算であつたが船中で意を翻へし一兩日滯滬の上南京に赴き蔣介石氏と會見して一切の顚末を報告する事となつたと

超越か民營か

たちばな生

一

滿鐵又は日本の滿洲政策の「恒久性」を創造したいといふ熱心な希望を抱いて居る團體が、私の知つたところでも三つある。滿鐵社員會、大連商工會議所及阪谷芳郎男を中心とする在京有志團がそれである。

二

滿鐵の超越性を希望することは、夫の政黨化と同時に滿鐵社員の間に傳統化したものであらうから、恒久性運動を歷史的に見る場合には社員會を元祖とすべきであらうけれども、併し社員會は聲ばかりで、未だ曾て具體案を提示したことがない。所謂具體案は去四月九日在京有志團の制定を第一着とし、次いで五月九日大連融議も亦これに倣つた。

三

有志案と融議案とを比較すると、前者は問題を、滿鐵重役の任命手續に限り、後者は廣く日本の滿洲政策の全面を支配し得るやうな機關を、二大政黨の協力の下に組織し運營させやうとする。融議案は愉快な理想ではあるが、現實との距離が少しく遠きに過ぐる憾みがある。然らば有志案はどうか。

四

それに就いては前滿鐵重役田邊敏行氏の批評がある。謂はく内輪の人であるだけ、多少の臭味を免れぬと共に、傾聽すべき節もあると思ふ。それによれば「滿鐵幹部は政變毎に更迭することがよい。でないと政府當局者と滿鐵幹部との意氣が投合しない。……滿鐵幹部の恒久性、滿鐵幹部の超黨派問題には全く不贊成だ」といふにある（四月十八日滿日夕刊）。

五

成程一方に政黨政治を認め、同時に滿鐵の准國營性を認める限り、田邊氏の意見は全く正しいといはざるを得ない。問題は唯滿鐵の猫眼性を我慢しても夫れの准國營主義を維持するがいいか、乃至は恒久性を確保するためには民營主義に乘換へてもよくはないかの二點に歸着する。准國營制と恒久性といふ絕對に兩立しない筈のものを同時に獲得しやうとするところに、有志案及融議案の弱點があるのではないか。

六

民營には勿論多くの弊害が豫想される。併し日本の國民經濟機構、殊にその經濟發達の現段階に照すとき、日本の滿洲政策の工具を准國營から民營に引直すといふ要求は、決して不自然のものではなさそうだ。

日露漁業條約の解釋を更改する

紛爭の根本的解決策

【東京十三日發】日露漁業條約不備の點は今回の國營漁場增設問題につき我國の痛感するところとなり外務省は條約の改訂につき廣田大使に訓令すると共に農林當局と基本的研究を重ねてゐるが、條約の修正は

一、北洋漁業を中心に日露間に意外に濃厚な空氣が醸成されたること
二、改訂期日は今後五ケ年後に到來するを以て滿期前に改訂交涉をなし得るとの規定を楯に交涉を開始するも事實上種々の困難があること

等のため結局豫期の結果は得難いとの意見が有力で幣原外相は修正交涉とは別に日露國交並に當業者に何等支障を來さぬやう漁業紛爭の根本的合理的解決策を立てるに決意し近く立案閣議に附したる上廣田大使に訓令勞農當局と交涉を開始するはずで新方策は日露漁業條約の正文に基き日露間に新に解釋を手交し覺書の形式に取纏めて政治的諒解を附帶せしめて漁業紛爭の根幹を除去せんとするものであると

七漁區問題 至急解決陳情

【東京十三日發】露領水產組合では十三日懸案の七漁區問題につき至急解決方を陳情する筈なるも速急に解決せぬならば漁期を逸しない中に右七漁區に對する投網だけでも許可されるやう交涉を依賴すると

學士院新會員

【東京十三日發】帝國學士院は左の新會員當選を見た

京都帝國大學教授 文學博士 濱田耕作
帝國學士院會員被仰付

鐵道營業者として飽迄友誼的に折衝

專門委員の顏合せは廿日過ぎ 滿鐵の鐵道交涉方針

木村滿鐵交涉部長は沿線視察より十五日歸連する豫定であつて歸社後數日間社内關係各部と打合せの上二十日過ぎ專門委員を引連れ赴奉し支那側專門委員との

初顏合せを行ふであらうと豫想されてゐる、而して專門交涉に對する日支双方の腹案、方針等は既に大體決定し居る由去る二月木村交涉部長が張副司令、高紀毅委員長と交涉に關する諒解を遂げて發表せるコムミユニケの如く外交的形式に捉はれず飽く迄友誼的に鐵道營業者としての立場より利害の一致點を見出すべく懇談を遂げんとするものであつて

交涉項目の如きも未だ確定不變のものとはなつてゐない模樣である、從つて斯く懇談的打合せを主とするものであるからこれに要する時日も相當長期に亘るべく滿鐵側專門委員は半永久的に奉天に常住することになるらしくこれがため總務主任の地位に在る岸田嘱託は目下奉天において事務所宿所等を物色中の趣きである

誠意を披瀝せば懸案解決は容易

穗積專門委員語る

滿鐵關係支那鐵道問題の權威者として專門委員の一人である涉外課鐵道係主任穗積哲三氏は語る

私は大正八年以來鐵道問題の交涉に關與してゐるが正式に交涉委員となつて支那側と折衝するのは今回が初めてであるが今回の交涉問題はお互ひに誠意を披瀝して懇談すればすべて解決出來る問題ばかりであると信じてゐる、私は木村理事の指示により專門委員としてベストを盡す考へである、一部に傳へられてゐる交涉事項の如きは全然想像に過ぎない

內務、大藏整理方針

內務は局課廢合と警視廳廢止　印刷局の事務は造幣局に移す

【東京十三日發】行政整理準備委員會は十二日午後一時半より首相官邸に開催され內務、大藏二省の整理に關する審議に入つたが

內務關係

一、內務本省の局課の廢合はその事務の性質、系統を考慮して按配すべく神社、地方、警保、衛生、土木の各局においても所屬の課の廢合を行ふこと
一、外局たる社會局についても同樣趣旨を以て整理を行ひ職業紹介事務局官制、防疫職員官制、健康保險□官制、神宮皇學館官制、造神宮使廳官制等についても整理を行ふべし
一、府縣の廢合に關しては現行區劃の變更したきもの相當あるもこの改正は地方的に問題の惹起すること必然であり、委員會としては先づ府縣の廢合は斷念すること
一、府縣の廢合が、現しないとすれば一府縣知事をして隣接縣を兼任せしむる方法を取るも可なるも本問題の解決は他日に讓ること
一、各府縣の學務部を廢し課となし內務部に屬せしめ學務部長を廢すること
一、警視廳を廢し東京府に警察部を置き警視總監を廢すること
一、徵稅その他のための現行三部制（市部、郡部、市郡連帶部）を廢して市、郡の二部制となすこと

大藏關係

一、本省內局課の廢合は大體その餘地なきものと認む
一、造幣局に印刷局の事務を移し證券印刷、兌換券印刷、切手、印紙、葉書の印刷を行はしめる
一、營繕管財局は各省營繕事業統一の點から現行官制上整理の餘地なきものと認む

との意見提出されたが、大藏省所管において稅務監督局、專賣局、稅關等の各官制審議に入らず午後五時半散會した

貴院公正會糾撻

【東京十三日發】貴族院公正會は北洋漁業區問題を重視し軟弱外交糾撻のため十一日總會で岩倉、中島、鍋島、小畑四男を特別委員として擧げたが十二日特別委員等は幹事との聯合會を開き貴族院各派を糾合して對支對露軟弱外交糾撻の共同聲明を成立せしめることを申合せた

滿洲簡保金利用

約半額は低利で貸付

【東京特電十三日發】現在關東州の郵便貯金は總額二千四百萬圓に達し大藏省預金部においてこれを保管してゐるが右の内低利貸付を爲しなるもの大連に一百萬圓、財團法人聖德會に二百萬圓、敎育鐵道資金に一百萬圓、その他流通資金に六百萬圓合計一千萬圓で殘り一千四百萬圓であるが近來不況にて事業會社等にてこれが低利の融通を希望してゐる向も少くないやうであるが大藏省の方針としては普通會社の事業資金には一切貸付をなさず營利を目的とせざる社團法人或は大連等において公共事業を起す場合には相當考慮するとのことである、本日右預金部を訪へば

別段今の處貸付請願の交涉を受けてゐない、若し具體的交涉があれば資金運用委員會を開きこれを決定する筈で今日の處大體四分二厘の利子で貸付けることになつてゐる

と語つた

茶壺

◇…「辯護士の資格を有つてゐるからッてサーベルを腰にしろ、といふのは少し可哀想だヨ君」と石井大連署長、適に法律の話になると苦勞しただけに熱心に話を進める

◇…「僕は賭博に興味を有つてゐる、殊に支那の賭博は面白い、僕が練習所時代（石井さんは長らく警察官練習所の教官だつた）支那の賭具を區分蒐めて遺らしておいた、この間から賭博に關する文獻や判例集を買込んで讀んでゐるが却々面白い」

◇…「尾佐竹猛氏は大審院切つての賭博通だといふことだが賭具の種類から賭博の方法迄詳しく研究したものだ、賭博に關する判例も近頃は素晴らしく變つたと思ふれ、例へば從來は賭博の方法迄も判決の中に詳細、說述しなくてはならなかつたのだが、この頃では賭博の種類をテクニックで示せば足りるとしてある」

◇…「賭博を賄賂の一方法として使用するといふ事實は支那らしくて愉快だね、張作霖氏なども部下や、勢力下にある富豪などと麻雀を遊んださうだが、必ず勝つて儲けたさうだ、支那は表面では賭博を禁止してゐるが、裏面ではお目溢しがあつて、こんな賄賂の一形式となつてゐる」【寫眞は石井氏】

宮城一區補選 兩氏當選確定

【仙臺十三日發】宮城縣は十三日午前十時選擧會を開き第一區補缺選擧につき內ケ崎作三郎、宮澤清作兩氏の當選を決定告示した

吉田學長講演

廣島文理科大學々長吉田賢龍氏は十五日朝來連するが滿鐵では同日午後四時廿分から社員倶樂部において氏の講演會を開催すると演題は「內的生命觀」

辭令

【東京十三日發】本日左の如く辭令發表された

旅順工科大學助教授 內藤傳一
依願免本官

ばいかる丸

十四日午前八時大連港外着の豫定

人事

▲安田柾氏（大商副長）十三日出帆香港丸にて內地へ
▲八木元八氏（前哈爾濱總領事）同上
▲森本勝巳氏（關東廳警務課長）同上
▲岸田正記氏（代議士）同上
▲立石保福氏（市會議員）同上
▲寺島由松氏（辯護士）同上
▲山口勝哉（檢疫醫師）同上
▲末永一三氏（大商副重役）同上
▲津久井誠一郎氏（三井物產大連支店長）浦鹽方面の近情視察のため十三日二十一時半發列車で北行
▲有田宗義氏（關東廳保安課長）國際聯盟婦人兒童賣買調查委員一行の來滿につき打合せのため安東へ向つたが廿日頃歸任の筈

蛇角

◇ 第一銀行が八十萬圓の預金を凍ばして曰く「已に時效に係つてゐる」と、酷い銀行もあつたものだ。こんな金は大連にはあるまい

◇ 滿洲問題、支那が増長したとさ政友會は言ふ、自が支那に愛想をつかされたのだとは言はない。

◇ 蔣さんにダンスと金とでペッカでうまく籠絡された學良さん、廣東へ和解勸告をやるとう檄舞臺に出た。いつ落ちるつもりか。

◇ 北滿要路の赤化露人の高飛び大流行、金をもてば何もキウクツな共產黨員である必要はない。

◇ 大臣になり得る見込のない連中が、拓務省を廢せと主張するのである。行整よりはそれみた。

◇ 梅幸が滿洲に來た。我らは芝居をせない梅幸を餘り必要とせない三津五郎一行が近く大連に踊りに來る。此の方は大いに歡迎したい

◇ 明日から全國料理屋大會開催、これも港□協會と同じく、戰經ばかりで反對論のないのが特徵である。

國民會議フォトニュース

（上）國民會議出席代表議員約五百名は五月六日早朝南京郊外紫金山の中山陵に詣で孫文の靈廟前で三民主義及び總理遺囑奉戴を宣誓した、宣誓を終つて退場する代表議員、×印張學良氏（下）國民會議主席團の一人劉純一女史は山東の生れで今年三十八歲曾て日本女子職業學校に學んだことがあり民國五年歸國後陝西第一師範學校長となりその後政治運動に加入せる女傑である、寫眞は劉女史とその息子

御馬車に召され けさ白玉山へ
閑院春仁王殿下
松樹山二龍山の戰蹟御見學

旅順に御一泊遊ばされた閑院若宮殿下には十三日午前六時御起床輕き御朝食を召された後午前七時四十分御發黄金山に御成り一般學生と共に松崎一等機關兵曹より陸要塞隊の行動、松下要塞參謀より旅順港灣の概要に就いて御説明を申上げそれより御馬車にて同九時四十分白玉山に御成り、親しく納骨祠に御拜、新妻少佐より地形説明を御聽取遊ばされ松樹山二龍山に御成り再び新妻少佐より同地附近の戰闘に關する講話を御聽取の後二龍山に於て御晝食を召された【御寫眞は白玉山の殿下—向つて左】

日活映畫との交涉決裂す
大日活はパ社で興行
映畫戰線に異狀を來さん

「大日活」を繞る三田尻櫻主中野常助氏對大日活主長次郎吉氏との保爭事件に絡んだ日活映畫配給問題は杜重日活關西支店長の個人的出張問題もあつてその成行は大いに注目されてゐたが、目下來連中の杜重支店長は十二日午後十二時を期限として身許保證金一萬圓、氏自身の貸與金一萬圓、映畫賃貸料一ケ月分前納一千五百圓、映畫賃貸料の滯納一千五百圓合計二萬三千圓の支拂條件を提示したが、長氏は十二日午後七時遺憾の意を表して來たので茲に交涉は遂に決裂し同八時電氣遊園登瀛閣に日活會社側から杜重、伊藤兩氏、長氏側から長、相川、木原の三氏互に會見し淚を呑んで別れの盃を擧げるに至つた、尚大日活は十三日よりパラマウント映畫を以て興行してゐるが、近く何等かの對策に出づべく大連映畫戰線に異狀を來すものと見られてゐる

一向に驚かない
對策を語る館主長氏

日活會社と絶緣した長氏は既にパラマウント會社ならびに阪妻プロダクションとの間に特約を全滿洲に於ける配給權を獲得したので今後は兩社の作品にかゝる和洋兩樣の映畫を上映し更生の「大日活」として相見ゆる事になつたが右に關して長氏は左の如く語つてゐる

私は過日京都に出發する時すでに今日ある事を豫期して行つただから今回日活會社と手が切れる事になつても別に驚きはしない、十二日の晩お互に白紙で別れやうと云ふ事になり氣持ちよく別れの酒を酌んだ次第である映畫ファンは必ずしも日活でなければならないといふ譯でない幸ひパラマウント會社並に阪妻プロダクションとも提携が成立したので今後はこの兩映畫で行くつもり、如何なる興行方針でゆくかそれは經費を切り詰めて入場料の安い脱線的興行をするか或ひは現在のまゝの方針で進むかその二つ一つであるが肚はまだ決つてゐない、長はまだ眠つてゐる[illegible]ない心算であるから什麼破天荒な事をやり出すか解らないが兎に角映畫界の革命兒として皆さんの期待に添ふやう努力する

日活映畫は常盤座か
映畫界の觀測

「大日活」を引揚げた日活映畫は今後何人の手に契約されまた何れの方面に進出せんとするかこれこそ大連映畫街に殘された大きな謎であり流言蜚語に亂れ飛んでゐるが從來の經緯から日活會社は長氏の債權者たる中野常助氏と契約し配給される映畫は常盤座に上映されるのではないかと專ら傳へられてゐる何れ近く解決される問題で事實とせば來週あたりから實現するであらう

出船賑ふ
名士を乘せて

十三日出帆香港丸は賑々しい知名士の顏ぶれを揃へて定刻盛な見送りの言葉に送られて船出した、まづ大汽社長安出征氏がハルピン夫人同伴で上京、續いて浪速ビルの建築工事を前にして多忙を極めてゐる代議士岸田正記氏「一寸二三週間の豫定で行つてくる愈々仕事に手をつける樣になつたので忙しいよ」見送りの友人達と甲板上でしきりに囁きあつてゐる、その他市會議員立石保福氏並に辯護士寺島由松氏、それに海務局の檢疫課若手檢疫員として馴染深い山口勝哉氏夫妻「永い間御世話になりました親父の跡をついで鹿兒島で開業しますよ」それに大阪商船重役末永一三氏

港灣協會の總會に來たのだが自分等の會社と直接關係のある滿洲の人達の色々な意見を聽く事が來て今後航路改善に對する成案を得た一等船室をのぞくと鴨綠江採木公司理事長の椅子に就いた前哈爾濱總領事八木元八氏が眼鏡の底で笑つてゐる、最後に關東廳警務課長藤本勝一氏は「十八日から廿日まで警察部長會議が東京において開かれるがそれに出席の爲行く、こちらから何も云ふ事はない内地の色んな意見を聽いて來るつもりだ、だが聽かれたら話すだけの材料は集めておいた」と語るこの外團體では都城商工の三十九名、伏見商業三十二名、佐世保中學の百七名、頗る賑々しい船出振……

船は增えたが噸數が減る
關東州置籍船の統計

昭和五年度に關東州置籍船は何隻增えたかその總噸數はどれ程か十三日これがハッキリした統計が海務局海事課の手によつて作成された、それによると五年度末は汽船隻數百四十隻、帆船百三十五隻、計二百七十五隻、この總噸數は三十六萬四千百三十六噸、それを前年度に比較すると隻數合計二百三十二隻で結局四十三隻の增加であるがその總噸數では三千七十一噸の減少を示してゐる、これは[illegible]い現象である何故總噸數に減少を來したかと云ふと前年度は北平、大有兩船は解散、東新丸、公濟丸兩船の沈沒によるもので隻數において增加を示してゐるのは長春丸宇佐丸、鳳城丸、三福丸、第一松丸、北平丸の六隻並に帆船四十隻の登錄を見たるのためであると

映寫中に引火して五十餘名の死傷者
また北海道でこの慘劇

【函館十三日發】後志國島牧郡東島牧村本目村鶴巻榮吉方で十二日夜例日の如く活動寫眞映寫中午々十時十五分頃瓦斯からフィルムに引火し大事に至つたので觀客二百餘名は悲鳴をあげ慌てふためいて入口に殺到し高窓を破る等して避難したが火の手は忽ち全家を襲ひ燒死者十六名重傷者三十名を出したが、その大部分は子供である尚火は折柄の强風に四方に延燒し十一棟を全燒し十一時半鎭火した

慘死者は子供

【函館十三日發】既報東島牧村の活動寫眞慘事現場は壽都町から五里の個所に在り壽都町からは急報に接すると共に警官、醫師、看護婦等が出張して目下負傷者の手當中であるが其の後の調査に依れば死者十六名、負傷者三十名で現場は目もあてられぬ慘狀を呈し死者の大部分はいたいけな子供が占めて居り往年の鐵海の慘事を偲ばしめるものがある

北千島で汽船沈沒
乘組員は上陸

【函館十二日發】函館、カムサツカ間命令定期船栗林商船の大連丸（二二四二噸）はペレウより日魯の西海岸送り込みを終り函館への歸途十二日午後五時北千島ショワ島附近にて濃霧のため坐礁し大北丸救助に向つた農林省監視船白鳳丸より十二日午後六時半落石無線電信經由函館海事部への入電に依れば午後六時白鷗丸が現場に到達した時には大連丸の船體を海上に認めしも乘組員は既に上陸せしものゝ如く陸上に焚火を認しとあつたが次で八時半同船よりの入電に依れば大連丸は船體沈沒し乘組員は全部陸上に避難し居れり現場は風浪尙高く作業困難なるも同夜中に收容する見込みであると

交通事故防止に十字路改造
大連署と土木課協力

血なまぐさい街頭の慘禍を根絶するため市內各警察署では交通訓練宣傳に大童の態であるが、事故發生の原因は車馬及び步行者の不注意ばかりでなく、街路の構造不完全に基く事故發生も非常に多いので、今回大連署保安係では、關東廳土木課大連出張所と協力し十字路の改造を行ふこととなり目下改造地點の調査に着手してゐる即ち十字路が直角であるため前方の見透が利かぬ街角は圓く切り開き、或は電車線路と人道が接近してゐて車道が非常に狹く自動車が急カーブするといふ如き個所は車道を擴張せんとするもので、既に大連署の調査により改造、必要としてゐる個所は逢坂町遊廓の入口、八幡町婦人病院前の曲角、加茂川町と近町の十字路、大廣場警察前の曲角、朝日廣場の交叉點などで、何れも交通上、危險區域とされてゐるので、近く土木課の手で改造されることゝなつてゐるなほ其の他にも改造を必要とする危險區域に就いて調査を進めつゝあり、土木課の豫算の都合つく限り至急改造に着手する筈で、完成の曉は交通防止の上に效果を齎すものと期待されてゐる

エロ・エプロンにお目玉
ワカナのサービス睨まる

「本カフエー獨特の絶對タッチサービス」と言ふ尖端的廣告宣傳のもとに斷然大連カフエー界のエロ業の興味を唆つた市內常盤町連鎖商店街カフエーワカナはその後關東廳保安課よりキッイ御達示のもとに女給にいかゞはしい扮裝及び前記の如き廣告は絶對罷りならぬと營業主より始末書を取つたが最近同カッエーではまたく女給のエプロンの下部に赤糸でもつて「?」を入れたのを掛けさせ客席に侍らして居るので小崗子署保安係ではこれも風紀上面白くないと十三日營業主に對して直に取除けを命じた

避暑客誘致策に貸別莊を値下げ
星ケ浦ホテルで研究

最近北滿、ハルビン方面の外人より沙河口署に對し同署管內の星ケ浦方面にある貸別莊について盛んに問ひ合せがあるが星ケ浦ヤマトホテルの經營して居る貸別莊は他所のより設備その他が比較的完備して居るところより幾分高價であるところへ昨年來の未曾有の銀安に祟られて昨夏來北滿方面よりの避暑客は何れも青島、北戴河方面に赴く者が多くなつたのでこれを大連に吸收するには少く共、五割內外の値下げを行はねば今夏の避暑客は再び同地方面に吸收される虞があるので星ケ浦ホテル當事者ではこれが對策について目下考究中であるが今年はいよく三割內外の値下を斷行する筈であると

リーグ戰中止

【東京十三日發】早明、慶立野球二回戰は雨天順延中のところ十三日も朝來降雨歇まず十四日午後零時半より擧行に順延された

初夏の感觸
ゴルフ クラブ握つて戀愛第一課へ
若人はベビーにウインク

日本におけるベビー・ゴルフの流行はおよそ意味ないもので、アメリカニズムが釀成した世界第一主義と誤適用なる小馬鹿主義のシムボライズされたもので、且これと同じやうな社會學的發生意義がある——と如是閑氏は一流の社會觀から、ベビー・ゴルフを嘲笑してゐるが、地大物博の滿洲野の心臟、大連の一角にも、流行の泡のやうなベビー・ゴルフ場が二ケ所も現れて、ちよいとワンサ連に騒がれてゐる

大 廣場の一角、一間間口の門扉を見て諸君はモダン・トイレットの入口だと思つてはいけない、原始色彩に極彩色されてゐる扉の輪は、彼氏と彼女がクラブを握り、球を叩き上げてゐる輪なのだから——こゝで廿五錢を拂つて、スコアーカードとクラブを借りる、さゝやかなゴルフ天國のチケツを賣るガールは決して諸君の競技の相手を勤めるゴルフ・ガールではない、ホールは十八、彼氏と彼女氏も若い、ティーにボールを拵えて、ワン・ツウ・スリー！、ストロークはクリアーに、そして正確に、異性相手のベビー・ゴルフはたゞへシングルスと雖も、互に戀敵であると考へることが肝心だ、殊にもしスリーサムの場合は、同性は互にライバルでなければなるまい、クラブを握つてティーに瞬間から、ゴルフアーは戀愛遊戯者の意識を有つてゐる、小さなスウキングで叩き上げられた

球 が、バンカー（障害物）に引つ掛つた瞬間、彼氏は、ほろにがい戀の味を感じるラッフに球が捕まつたら事だ！こゝの簡單な戀愛遊戲の難しいテクニックに惱まされる

……◇……

第一のティーに立つてから、十八ホールスを打ち上げる迄三、四十分間の技巧の裡に額に汗して君はラヴ・テクニックを練習する、休息所のソーフアでホット・ウイスキイを呷り、彼女氏の頰がベパーミントで上氣するころ、君は沁みぐとベビー・ゴルフの正體を掴むことが出來る、それは戀愛遊戲の媒介體だよ、さア戀愛講座第一課が終つた、次は連鎖街コースへのし出さうよ（寫眞はベビーゴルフ場で戀愛第一課の習得）

三津五郎父子と竹三郎が八月に來演
舞踊の夕を開催する

豫て噂されてゐた阪東三津五郎の滿鮮巡業はこの程釜山の東洋興行社三宅善吉氏の太夫元にて阪東流家元として舞踊を以て御目見得することに決定した、一行の顏觸れは三津五郎父子一門に尾上菊五郎の名代として阪東竹三郎が加はり地方としては長唄杵伊三郎社中鳴物富士田新藏社中清元梅吉社中で三の替りまで用意し三越衣裳部が附添ひ一行五十二名である（寫眞は三津五郎）

轢死者の身許

既報、夏家河子驛附近の學生風の轢死體身元に就いては大連署で調査の結果市內磐城町百十七番地魚商下村正夫氏方止宿淺野二郎（一九）と判明した、同人は下村氏の親戚に當り一昨年春郷里廣島から來連工專商工教育部を卒業後、滿電內線係に勤務してゐたが十一日午後二時ごろ家出し、搜査中のものであつた

隆子刀自逝去
山縣公未亡人

【東京十三日發】山縣伊三郎公未亡人隆子刀自は膽石病にて數日前南病院に入院加療中十二日午後四時二十八分逝去した、享年六十五歲尚葬儀は十六日午後二時より青山齋場にて行ふと【寫眞は隆子刀自】

相撲初日取組

【東京十二日發】大相撲初日取組左の如し

銚子灘（常陸島）大和錦（大島）綾ノ濵（寶川）劍岳（大潮）高ノ花（藤ノ里）外ケ濱（新海）太郎山（潮ケ濱）錦華山（高登）信夫山（常盤野）出羽岳（伊勢濱）鏡岩（清水川）古賀浦（錦洋）和歌島（山錦）玉碇（武藏山）雷ノ峰（沖ツ海）幡瀨川（若葉山）天龍（綾櫻）肥州山（大ノ里）吉野山（能代潟）玉錦（若瀨川）

小崗子乞食狩

小崗子署では十三日午前九時より非番員總出動のもとに同署管內の乞食狩りを行つたところ午前中に約六十名の乞食を狩り集めたがこれ等は十三日午後出帆する永利號にて何れも山東方面に送還する筈

近江町婦人會

先頃發會式を擧げた近江町婦人會では十三日午後六時半より近江町滿鐵社員俱樂部大廣場に於て第一回總會を開き本年より實行する諸事業等の打合せをなし閉會後引續き童謠、獨唱、琴曲、劍舞、合唱、長唄、仕舞、劇、ヴァイオリン等の餘興あり時間を勵行し會員及家族の來會を歡迎するさ

五月祭

來る十七日午前十時から
大連運動場で擧行
各婦人團體一般婦人參加
主催　大連市役所
後援　滿洲日報社

天氣豫報　十四日
南の風　曇
滿潮（午前八時四十五分 午後八時五十分）
干潮（午前二時十五分 午後二時四十分）

暗流阿修羅館 (62)

生田蝶介　挿畫　藤井耕達

首一つ三十兩（一）

道灌山の下は一面の樹海だつた。その彼方を三の輪川が流れて茫乎たる荒木田ヶ原は十五萬坪と云はれてある。

草も深いが澁も深い。

ところどころ灌木の林が群生してゐて古沼を隠してゐたりする。

「武藏野の逃水」といふのは、かうした古沼から立つ靄が野を流れ動いてゆく姿を水と見たもので、夕ぐれ時、道灌山から見下すと一層その觀をふかくするのである。

そして、どうかすると、その透げ水に、何處からともなくぼッと一つ灯火が映つてあたりに滲む。それが何處から射すのかはわからないが、何さもいへない淋しさを誘ふ。多分、野の中に一軒家があつて、草のかげか、林のかげかで細そと灯してゐるのであらう。それにしてもこの當時、このあたりの野中に家らしいものは一軒もない。

やうに思はれた寂れ切つたものであつた。

千住大橋から約十丁川上に地藏堀といふ氣味のよくない流れがあつて、荒木田ヶ原の草藪の中にまぎれ込んでゐる。猪が飼つた樣に澤山ゐて、晝でさへ化けて出た。

芦のかげや、堤の上に地藏が幾つも並んでゐるが、どれが本當の地藏であるかわからない。人が通ると、落ちてゐた首がひさりでにひよいと地藏の頸のつけれに飛びあがつたりする。

以前堤の上に小さいお堂があつたらしい跡があるが、もうそんなものも何時の程しか無くなつてゐた。

それでも、綾瀬川に近く松杉の木があつて、觀音寺といふ寺の屋根が鍋の果に見える。荒木田ヶ原もそこで一先づ川に區切られるのであらう。

が、この觀音寺といふのがよほどの古寺であるばかりでなく久しく無住である。

さしたる大きい寺でもないがし——いんとしてゐる。靄も暗い。

が、不思議なことには、その靄のやうな暗さの中で、夜になると、一ばん奥の書院とおもふあたりに

黃色い灯がぽつりとともる。

上流から綾瀬をかへつてくる船頭が度々見かけて、

「また猪がいたづらをしてゐやがる」

と呟くのである。

が、それがこのごろでは一日や二日ではない、毎晩灯が入る。

さりとて誰一人として、觀音寺に住職が來たといふ話をきいたことがなかつた。また來たとてあのやうなところでは生きて行かれるものではなかつた。

それで川を上下するものが透げ水の中でその寺の屋根を見る度に

「さうさあの寺は猪の巣になつてしまつた。お玉杓子ほどまつ黑になつてあの寺の中に爺がうじやうじやしてゐるに相違ない」

と身ぶるひをするのだつた。

谷中の森から、だらだら坂を下りて、十面橋を渡つて、畠の中に出た一人の男、三川島街道を左にさつて荒木田ヶ原の透げ水の中の夕暗にまぎれ込んでしまつた。

透げ水には、例の何處からとも知れぬ灯火が滲んで、地藏堀あたりでは、猪が、キキ、キキと鳴きはじめた。

何處かに雨氣があるか、どんよりとあたりの氣が沈んで、そよとも風もない。

透げ水は頻りに湧いてゐる。その靄の底、草の中の徑で、その人の足音だけがしさしさ、しさしさと何時までも聞えてゐた。

何故今時分、人の恐れて近づかないこの荒木田ヶ原に入りこんで行つたのであらう。

どうやら、その足音は觀音寺の方へ向いてゆく。命の惜くない人であらうか。

明確に表現する
岩井少年のシロホーン

村岡樂童

◇…綾鈔の高崎男から岩井少年のシロホーンを聽いて遣つて呉れとの話があつたので去る九日夜ホテルへ出掛けて行つた、大廣間には既に少年の演奏が始まつて居つた、高崎男、佐田氏、滿日の人々の外にホテル宿泊の外人が十二三人熱心に聽き入つて居た、曲はリストのハンガリアン協奏曲六番であつたが私は最後に近いプレストから聽いた、曲が終ると外人達は感極まつてか總立ちとなつて交互に岩井少年を抱き上げ異口同音に少年の非凡なる天分に驚きの眼を見張るのみであつた。

◇…次ぎはサラサーテ作曲のデコイネルワイゼン、前の協奏曲と云ひ此のデコイネルワイゼンと云ひ何れもマスターピース中の難曲であるが岩井少年の技巧は難曲に當れば當る程テクニックの冴えが一層確になると云つた樣がある、絃はシロホーンでこんなにも明確に表情を現はし得るものかとは思つて居らなかつた爲か一層少年の天分に驚かされた。最初のカデンツの數々の技巧と云ひレントに這入つてソフトスティック（弱音撥）に依て奏される個所の表現は實に立派なもので最後のアレグロー、モルト、ヴイバテエからのテクニックは眞に世界的なものであらう、遂少年も斯くなると少年の頰にも紅い色を呈して興奮の樣がアリアリと見えて來るのであつた。

昔彼のモッアルトが六歳の折父に連れられて故郷のザルップルヒから維也納に旅して當時の皇后マリア・テレサ陛下の御前演奏の砌モヅアルトの演奏が終はるとテレサ皇后は淚に濡れた其頰をモッアルトの頰に押當て、只々感激の淚に咽ばれたと云ふ事であつた、私は當時の光榮を思ひ浮べると同時に人一異常なショックに出會ふる時又淚なしに居られなくなるもので何時とは無しに私の頰にも淚が傳はつて居た

◇…數日前彌生高女で岩井少年の演奏があつた際も同校の音樂擔任の增田先生からの電話で我國にもこんな非凡な音樂の天才が出る樣になつたかと思つて心强さと嬉しさに泣けましたと云ふ事であつたが、私も矢張り同じ思ひに泣けたのであつた、眞に天才中の天才とは岩井少年の如きを云ふのであらう。

木琴の天才岩井少年の家庭

寫眞は左から岩井良雄少年のシロホーンの伴奏をするヴアイオリンの父君良雄氏とピアノの母堂延枝氏【十六日協和會館で演奏】

キネマ・ニュース

各都市の行進曲流行りであるが大連行進曲の映畫が出來るのも遠い話でなささうだと本社へスタヂオ便り。

……▲

昭和五年度の內務省檢閱による一番澤山戀愛物を製作するのは斷然松竹で三百六十三米カットされてゐる。

……▲

東京シネマの依囑で蒙古映畫を撮影する筈だつた志波西果監督は突如右太プロに入社した。

本社特選　新棋戰【其一】

平手　六段 △渡邊東一　六段 ▲平野信助

（圖は二三歩迄の局面）▲平野氏 持駒 ナシ

△渡邊氏 持駒 歩

△五六歩	▲八六歩
△同　歩	▲同　飛
△八七歩	▲八二飛
△三六歩	▲五三銀
△六九玉	▲七四歩
△五八金	▲四一歩
△五七銀	▲六四歩

【土居八段講評】……は敵と同樣に浮飛車模樣で……番の事故策戰上面白くない……く變化を求める意味で八二……き、而して攻擊的の方針の……四銀と繰り出したのは活氣……し方である。

【萩原六段解說】渡邊……五六歩は敵に五五歩と突か……位ゐ負けになるので當然受け……である。平野氏の八二飛は……四飛と指す手もあるが、先手……形では先の得を發揮され易……八二飛と横利を以て攻防兩……へたのである。八一飛のこ……は六一金は容易に五二に上……ものでないそれは七一角の……來る故、渡邊氏の三六歩は……用を圖る意で、二六飛の構……常に二九の桂の活用を圖るの……る。六九玉、四一玉は兩氏共……玉では持角の當りがある故、……な處に移したのである。平野……六四銀は七五歩の交換を挑む……あるが、此處では又四四歩、……角等の指手もある。

滿洲日報

蔣氏と約法

廣東派の反對に制せられ 大總統も立ち消えか

國民會議の召集は元來蔣介石政府に取りては閻馮軍討伐戰と甲乙の無い程の重要なものであつた。此の會議を通じて蔣派の政治上に於ける功勞を天下に吹聽し威力を全國に示さんとしたのである。外部の强敵を破つた勢ひで蔣派の一味は蔣氏を大總統に祭り上げんとさへ畫策した。之れに對し蔣氏を後援視して居た胡漢民氏の不滿が爆發して、約法案提出反對となり遂に内部の分解を招致した。

武力財力に缺ぐる胡漢民氏は監禁の一擧に遇ひ、難無く其の行動を封じられた如くであつたが、胡氏を中心とする所謂廣東派は案外結束固く廣東廣西を本據とし武力に訴へても胡漢民氏を救はうとするに至つた。

此の强硬な態度には天下獨歩を誇つた蔣派も大に驚き頗る狼狽して居る。蔣介石氏は國民會議の決議に依つて大總統になるとの噂は上海南京では誰知らぬ人無き迄に擴がり、果して如何なる約法案が出來るかゞ注意の的となつた。今出來上つて居る同法案には大總統なる文字は全然無いが、某消息通の語る所によれば約法案の起草委員會に於て政府組織の條項を討議した際、委員制度を明文にせず「法律を以て之を定む」といふ文句で現制度を變更しやうとする意見が出た。之れには蔣介石氏は强く反對し、若し自分が大總統に推されるとすれば迷惑千萬だと説明した結果、依然現在の委員制とし其の代りに國民政府主席の權限を極度に擴大したのであると。

此の點から見て反蔣運動の熾烈な今日、大總統になることは徒らに宣傳の口實を與へる愚策だと爲し、豫定計畫を變更したものと觀測される。

某當局者は國民會議に就て次の如く語つた。此の會議に於て中央としては約法案を最重要視しその他の問題の價値は數等下る、一般政情、不平等條約撤廢、共産軍討伐に關しては報告に依り政府の工作狀況を知らしむれば足り、教育實業に關する議案も八ケ間敷議論は無からうと思ふ、各地代表から多數の提案があり是は類別に整理し勿論一應上程しなければならぬが案外早く片付くであらう、又假令地方代表が大總統案を出すとしても、中央の情勢を知る者は必然之を抹消すべく問題にはならぬと斷言して憚らぬ云々。

先づ今の所では胡漢民派の反對に制せられて蔣派の策動範圍が縮小された觀があり、畢竟本會議は御用議員の無難な集合に終り相な傾向を示すに至つた。廣東派の反對に關し政府當局者は少數年少者の盲動であるかの如く吹聽し、一ケ月以内に政治的解決が出來ると稱して居るが、此の問題には廣東財閥が浙江財閥に蹂躙されつゝあり今にして起たなければ今後如何に悲境に沈淪するかも知れぬと云ふ重大な關係も伏在してゐるから、簡單には片附くまいと思はれる。【南京小口特派員】

八相

投書歡迎　五十行以内　中傷はさらす

水道修繕料　大連　君子

◇私宅の水道は本年の一月と二月とに四回凍りました、そして室の中の鐵管が四度破れたので初めの二回は民政署の水道係へ電話でお願ひして修繕して貰ひあとの一回は市中の水道工事屋へ一回は支那人の水道修繕屋に依賴して修繕を終へました、これ等の修繕は四回とも同じ程度の工事であつて修繕の結果は何れも良好でした。

◇ところが破れた鐵管の修繕料は民政署水道係にお願ひしたときは二回分で二圓三十六錢で一回一圓十八錢の割でしたが、市中の水道修繕屋に支拂つたのは四十錢、支那人の修繕屋に支拂つたのは二十五錢でした。

◇安かるべく信じてゐた民政署水道係の修繕料が市中及び支那人に比べてかく高額なのはどうした計算から割出されてゐるのでせうか、冬季は屢々水道の鐵管が破れるのを聞きます、一般のため御回答を願ひます。

お答へ 當方では浮山やつた工事から割り出した數字を基礎にして工賃を定めてゐる、水道工事を市中でやるやうな制度にはなつてゐないが假りに市中のものが工事をしたとしてもハンダヅケ位の程度の工事でないかと思ふ、仕事の區別が判らぬから當方の仕事と市中の工事屋さんの仕事とを比較することは出來ないが投書でいはれるやうな料金で當方のする仕事が出來る譯がない、當方では實費計算でやつてゐてこれより安いものはないと斷言して憚らないもので あつて安いのは仕事が違ふからであるといふより外にない(大連民政署水道係)

漁港を鳥瞰して(一)

漁民の生活と住宅

本間又吉

自己の居住地を根據とした昔時の漁民は居住の爲には不安も苦痛も無く、隨つて問題にはなつてゐなかつたが、近時魚族の減少は次第に漁場の距離を大にし、且大量漁獲を强らるゝ結果、漁船と漁獲方法に革命を來し、今では操業船の根據地は東に西に其の住地を離れねばならぬ樣になつて來てゐます。

關東州の如き特殊地域に在るものは半農半漁の土着漁民は別として、他の全部は住と言ふ問題の圏外に置かるゝ者計りです。何ぜ住と言ふ問題に觸れ得ぬか。それは一家を構成し得る丈の資力が無いからです。翻つて彼等の收入と對照したならば一目瞭然たる事で到底住の問題迄立ち入る許されぬことになつてゐます。

關東州の機船漁業はこの前にも述べたことがあるように一年の中漸く七、八箇月内外の漁撈作業によつて、それで十二箇月の生活を續けければなりません。今收入を數字で表して見ると左の通りのものとなります。

	船長	機關長	水夫長	油差	水夫
標準月給	金圓六〇	七〇	四〇	四〇	三〇
平均月收	四七	四五	三〇	二六	二〇
家賃	一五	一二	一〇	八	五
被服	三	三	三	三	三
家族食費	二〇	二〇	一〇	八	五
休業時の自分食費	五	五	五	五	五
家族雜費	一〇	一〇	八	五	五
生活費計	三二	三四	三六	二九	三三
不足	六	五	六	三	三

右の表は平均就業月數より打算したものであつて、尚月收の外に歩金と稱し、船主の利益圏内に入つた水揚ある場合には、一分乃至三分(船長級五圓―一五、平社員一圓―五)の特別給與があるが、本冬などは十二月に僅に二、三隻あつた計りで之等は直に慰安の資に擲出されて了ふのは常です。

尚又大連漁港を繞る漁民數は日本人(内地人約一五〇 鮮人約一〇〇)此の中就業數一〇〇、支那人約六〇〇就業數三〇〇と見るのは至當であつて、休業、繫爭、作事等の事故を除いて常時の操業船數は約七十隻内外ですから、就業船員は先づ下段の數となるでせう。其の上乘組者も一年中乘り通すものではなくて三分の一は交替するのですから、平均乘組延月數は六箇月位に低下して來ます。

一日の勞働によつて、一家族二日間の生命を繫ぐ、之で人間並の生活が出來ればそれは奇蹟です。文化に浴することの出來ぬ彼等、社會に取り殘さるゝ彼等は、放任して置いていゝものでせうか、一百萬圓の水揚を爲して關東州の重要産業に貢獻し吾人の生活に缺くべからざる食需を供給する此の原動力に對し、社會は何故に之を省みざるか。

勿論彼等にも幾多の缺點もありまれざる原因を作つてもゐるが之には暫く蓋をして置いていゝ。兎に角此の重要産業の原動力に向つては資本家の救濟と併行して十分に考慮を拂ひ其の住宅問題などは速かに解決してやるべきではありますまいか。

薬　小寺薬局　大連

米の話(上)

千葉豊治

本稿は大連農事會社常務取締役千葉豊治氏が過般ロータリー俱樂部例會席上に於て講演された「食糧問題を中心とした米の話」を乞ふて、業務多忙中の氏を煩はし、改めて通俗的な談話筆記の形式で掲載するものである(文責在記者)

世界における食用穀物のうち最も重要なるものとしては麥類、玉蜀黍、米が禾穀食物類の三代表としてあげられてゐる、そしてその總生産額は

小麥　一一億五千萬キンタール
玉蜀黍　一一億一千五百萬同
米　八億五千四百萬　同

となつて居り、この他に大麥、ライ麥、燕麥等も麥類の中に數へられるが、人間の食物としては先づ小麥と米とをもつて二大大關とされてゐる

玉蜀黍も多く生産されるが、米國等では主として家畜飼料に使用してゐるから、主食物としては小麥は歐米、米は東洋がそれぞれ代表してゐるといふことが出來る、而してこれを地理的に觀察すると支那の一部を除いて、米と小麥の生産される領域は可成り劃然と分たれてゐることが發見される、小麥の栽培は、收穫期に空氣が濕潤であり雨量の多いやうな地方には適しないために、赤道より遠く距つた地方に比較的多く生産される更に赤道より遠い地方でも空氣濕潤、雨量の豐富の箇所では栽培されない然るに米は赤道を中心として小麥とは反對に空氣の濕つた雨の多い地方所謂低濕地帶に主として栽培される、これは單に生産の地理的條件であるばかりでなく「自然」が人類に與へた微妙な食物の區分であるともみられる事實である即ち小麥、玉蜀黍等の如くアメリカ北方大陸の乾燥地帶に生産される穀物は、極めて脂肪と蛋白質に富んでゐるが、夏の空氣濕潤なる季節にはそのために保存に堪へないといふ特質をもつてゐる

北米のイリノイス、ノースダコタ等の諸州で生産された小麥や玉蜀黍が、ミシシッピー河を下りメキシコ灣を通過して歐洲へ輸出される際にいつも腐敗するのは、この空氣の濕潤に起因してゐるのであつて、歐洲仕向の滿洲大豆が印度洋で醱酵するのと同一の理由によるものである、然るに、米は穀物のうちでは脂肪蛋白質の少い方に屬してゐる、從つて比較的空氣濕潤なる季節と雖も醱酵せず、保存に堪へ得るといふ熱帶地方の食物としての第一要件を具へてゐることになるのである

このことに就いて米國コロンビア大學のラッセル・スミスといふ學者の如きは「世界食糧資源論」といふ著書の中で「東洋で米の栽培法を發見したとは重要な意義がある、それは實に人類の三分の一に光明を與へてゐる」と稱してゐる、まことに東洋人の主食物としての米の栽培が、赤道直下乃至貿易風地帶たる印度洋から太平洋西部沿岸へかけての濕氣と雨量多き地方、低濕地、沼澤等に普及發達してゐることは偶然ではないのである(續)

撫順炭坑秘話(26)

日露役の「張本人」

卅三株の行方

平佐二郎

マドリートフ大佐を第一に紹介されたとき、此の猶太人の御用商人は此の軍人が二個聯隊のコザックと數千人の馬賊を率ゐて、自分の鴨綠江上流の林區を守備して異れて居る有名な馬統領であるかと始めて氣が附いたかのやうに偉大な髭だらけな傀偉なる容貌を仰ぎ絶大の感謝の意を捧げ、力を込めて其の大きな手を握手しました。次にはステッセル夫人と云ふ年に似合ぬは美人、次には若いドクトルのルイセンコ此の軍醫はアレキセーエフの驍屬の御醫者でありました。

次に露西亞の少將の軍服を着た色の黒い、張景元と云ふ支那人に紹介されました。拔目のない顔の人だけにブリーネルは直に此の支那人が例の有名な馬賊の大頭目の林七であることを覺りました。そして二年前に自分の店員や調査隊を虐殺した奴だなと感附きましたが場所が場所ですから流石に靜かに握手を交しました。

大きな上海産の蜜柑や山東の名物の黄色い長い梨が食卓の上に山のやうに盛られたとき、ベゾブラーゾフは年の割合に髭の長い顔をブリーネルに向け靜かに口を開きました。

「ブリーネル君、君が永年、苦心して獲得された鴨綠江上流の例の露西亞林業會社をれ。君、畏れ多い話だが皇帝陛下並に皇太后マリヤ、フョードロフナ陛下の御名に依つて、露國皇室の御料林に編入することにしたいと思ふのだ。詳しいことはあとから何れアレキセーエフ中將閣下から御話しになる筈だが僕は先程一寸御紹介をして頂いた皇后陛下財務管理局の事務官のアレキサンドル、ミハイロウイチ、ベゾブラーゾフと云ふ者だ」

ブリーネルはアレキセーエフ中將からわざ〳〵呼びつけられて、はる〴〵と浦鹽から出かけたからには、何か鐵道の工事か、現に自分の浦鹽で請負つてゐる要塞か築港の大工事でもやらして異れるのだらうと内心頗る喜んでゐたのでありました。まさか多年の苦心慘澹たる鴨綠江上、朝鮮側の大利權をみす〳〵一言の下にベゾブラーゾフに取り上げられやうとは思ひも寄らぬことでありました。ブリーネルは山の中で馬賊に捕まつたやうな氣になつて度胸をきめました。そして眼をつぶつて觀念してゐました。

「ねえ、ブリーネル君」

とベゾブラーゾフは大きな聲で催促しました。

「それで、今ま君の隣りに座つてゐるマドリートフ大佐が君の會社の事務引受人、卽ち東亞興業會社の總支配人と云ふ譯なんだ。山の方には林七と一緒にパラショウと云ふ者が事務引繼ぎに行くことになつてゐる……」

哀れな猶太商人は、眼から自然に流れ出す淚を押へながら悟をきめました。そしてベゾブラーゾフとアレキセーエフの顔を等分に眺めながら細い、然し力のある聲で云ひました。

「閣下、私も多年ロシヤの御用ばかりつとめて居るものであります。苟くも皇帝陛下の思召にかなふことならば、何事でも決して嫌とは申しません。然し、閣下、我々商人は唯々金のために毎日働いてゐるのであります。軍司令官閣下からも、其の邊のところをよくペテルブルグから御出になつた賓客によく御傳へ下さいませんでせうか

曠野に築く夢(50)

大庭武年作　淺枝次朗畫

白夜の街の魔術(十)

「セルゲイは、ラムヂン大佐」

件は聲を呑んだ、淚の溢れた眼で大佐を見た。

「――セルゲイは、先刻殺されたのです」

「何ッ!」

「そしてセナトールも」

「えッ!」

「相手はゲ・ペ・ウの密偵です。然も我々同志の誰れかです」

「君は、君は、何と言ふ事を言ふ!」

「聞いて下さい、然も、我々の犧牲者の屍體は、行方不明で見當らないのです」

「噫!」

大佐は、大きな兩の掌で顔を押へた。

「私は神を疑ひたくなる!」

「ゴスポーヂン・件、けれど此の白です!」

「嗚呼!」

二人は聲も立て得ず立ち竦んで了つた。

「武器はどうしたか?」

然し氣をとり直して、大佐が氣忙しく尋ねた。

「全部押收されました。私は辛うじて巡警達の網の中を逃れて來たのです」

「徹底的に遣られた!」

件が地團太を踏む顔つきで叫んだ。

「總ては、我々の幹部會議の内容を知つてゐる者の仕業だ。相手を探索する範圍は極限された。然し實に手際がいゝではありませんか疾風迅雷的の行動は、敵ながら感服です。我々は明らかに敗北したのです!」

「然し大佐、我々は歎く前に、此の大きな破綻を一時も早く彌縫しなければなりませぬ。次に我々は我々の生命を護る手段を講じなければなりません。此の際の犧牲は餘りに大きな傷手です」

「待て、誰か來た!」

大佐は件を制して身構へた。絶對安全の城砦と氣を許してゐた此のマヂヤコの「荒鷲團」秘密支部も、今となつては、何處から什麼魔の手が伸びて來ないものとも限らない。既に同志の中に裏切者が否あの恐ろしいゲ・ペ・ウの密偵が這入り込んでゐると言ふのではないか!

「あ、カラムスロフだ」

ピストルを握り占めた二人の眼に、血相を變へて自轉車を飛び降りて來る同志の姿が、白樺の林の陰に隱見した。

「何か出來たか?」

二人も唯ならぬ若者の樣子に、期せずそちらの方に足を走らせた。

「あ、ラムヂン大佐!大變です、同志アリユホフ以下九名、シタフナヤ街の隱れ家を引上げやうとしてゐる所を、公安局の巡警隊に包圍され逮捕されました。白系パルチザンの殘黨と言ふ名目なんです

ゲ・ペ・ウの密告に依つた事は明かに、確に其の不淨な氣味惡さが此の事件の樣顔に漂つてゐる……。

「始末はどうつけます?」

大佐が困惑と悲痛に顔を歪めて唸つた。

「いや根本から計畫を立てなほすより外はありません。私は至急大連に歸つてアレキサンドル中將と會見しませう。それに、今の所、この被害以上に我々が他から壓迫を蒙る、表面的な理由を持ちません。敵の眼は當然我々の上に注がれる事にはなりませうが、そこは我々の策略次第で、いくらでも相手の裏を行く事が出來ると信じます」

「私は總て君を信賴する!」

「いや、私も全力を、盡せるだけ盡しませう」

二人は堅く握手した。

曠の都、哈爾濱は强烈な太陽の下に、再び昨日の如く息づき初めてゐた。黒いベールを剝いだ眞晝の彼の面貌は、けれど一脈の惡魔的な貌を湛へて、青白い迄に照り輝いてゐた。恰度それはしら呆けた魔術師の瞳にも似て、どこかつてゐるかのやうにも思はれた。彼の魔術に操られる人達をあざ嗤白い薄明の夜が再び近づいたならば、又そこにはより驚歎すべき出來事が展開されるのではあるまい

滿日各地版

鞍山

東大發表のレベルより滿洲の赤坊は優良
鞍山の赤坊審査會

鞍山に於ける兒童愛護週間中去る七日社員倶樂部に於て生後三ケ月より滿一ケ年以内の第一回全鞍乳兒健康審査デーを開催した處百三十六名の内當日應募者七十七名にて男兒四十三名女兒三十四名に達し滿鐵醫院不破小兒科醫長の手許で鋭意審査中であつたが十二日午後三時より醫院側、地方事務所側の各關係者及各新聞記者立會の下に最後の審査會を開き豫選に入れる男兒十名女兒十七名から左の通り入賞者及賞狀授與者を決定した 本審査基準は昨年東大小兒科の發表による全國乳兒審査の基準に據るものにして入賞者及び優良兒の九割は母乳により育てられたるもので滿洲生れの幼兒は東大發表のレベルに比較し遙かに優良であると 賞品授與式は本月末擧行の豫定

▲男子一等敷島町四五六ノ二馬場日出雄▲同二等音羽町三ノ九三好陽爾▲同三等北一條町一丁目一九ノ六野村隆昭▲同三等北三條町二〇二ノ二南脩▲女子一等北三條町三〇六ノ三興世田文子▲同二等北四條町二一三ノ四白石□子▲同三等大正通三丁目一一〇小林千里子▲同三等北一條町一一〇北村吉子、等外優良兒瀬尾隆也、小倉文彦、平野富一、松本正男、佐座雄一、山本謙一、龍榮子、瀧谷正美、福田笑子、赤田喜久江、山本省子、小林啓子、山下純子、小野京子、渡邊□子、梅原照子、上原孝子

無名士の寄附

十一日午後三時頃鞍山署保安係へ滿鐵社員らしき四十歳前後の男子出頭し金十五圓を投出し貧しき人へと濟生會に寄附し氏名も告げずそこ／＼と立ち去つたが近頃奇特の行爲であると

協和會總會

鞍山協和會では十三日午後五時より實業會堂に於て定時總會を開催し昭和六年度上半期決算報告をなし慣例により懇親宴を催したが盛況であつた

ゴルフ試合

鞍山ゴルフ倶樂部では十四日午前九時より臺町ゴルフ場に於て右近賞爭奪ゴルフ試合を擧行すると

見學團一束

△十四日午前六時八分着列車にて東京鐵道局主催視察團二百五十名來鞍
△十四日午前十一時四十三分着列車にて撫順中學校生徒九十二名
△十四日午後一時着運鑛電車にて旅順師範學堂生徒三十名來鞍
△十三日午前六時大正小學校生徒百五十名來鞍
△十四日午前六時大廣場小學校生徒百四十名來鞍
△十五日午前十一時四十三分南滿中學校生徒來鞍豫定
△拓務省稻田課長一行は十五日午前九時十六分着列車にて來鞍
▲菱刈關東軍司令官は十三日午前零時四十五分鞍山驛通過南行
▲右近庶務課長、梅根製造課長は十二日午後二時五十三分發急行にて赴連十四、五日頃歸任

製鐵所殉職者の弔魂碑建設
第二分析室の東側に

鞍山製鐵所では創業以來各工場內櫻桃園、大孤山等の各採鑛所に於て幾多の殉職者を出してゐるに拘らず今尚弔魂碑建設なきため一昨年來の懸案であつたが最近愈々具體化し構內第二分析室東側空地に建設費一萬圓を以て近く工事に着手することゝなつた

港灣協會一行

港灣協會總會に出席した丹羽博士は十三日午後〇時四十八分着列車にて來鞍製鐵所を視察したが第二班十二名は十二日午後二時五十三分着列車で來鞍製鐵所を見學し同夜湯崗子を經て大連に向つた第三部約四十名は十五日午後急行來鞍

アマチュアの滿洲寫生行
高見成

（十八）吉林の森林

吉林から敦化へ。沿道の景色は格別です、恐らく支那鐵道第一でせう、秋の紅葉に於て最も勝れてゐることは勿論でありませうが、早春の眺めも亦實に賞觀に値します。小楢の樹の濃紅と淡緑と、その背景にスクスクと立つ白樺、更に遠景に形さまざまの山又山技拙にして實感を現はし得ぬことを嘆ちました、老爺嶺、威虎嶺等の山脈が縱走して其處に吉林の所謂大森林を形成してゐるのです。

奉天

母親を振つて列車內から逃走
十七のカフエーガール

歸郷が嫌さか、奉天が戀しさか、態々郷里から出迎へに來た母親をも國中の列車內に捨て逃走を企てた十七の美人カフエーガール…愛媛縣久留村生れ福島富士子（一七）はその叔父に當る市內稻葉町十番地の或るカフエーに數年前來奉し手傳つてゐた、こうした境遇に置かれた彼女は花の蕾も綻びんとするに老成して素行が納まらなかつた、之がため一先づ郷里に歸ることになり數日前態々その母親が出迎へのため來奉し富士子を引取つて十日十三時廿五分發安奉線急行で懷しい故郷へと離奉した、然る處その列車が蘇家屯驛に到着し發車間際になつて彼女は便所に行つて來ると稱し席を離れたまゝ歸つて來ない、それと氣付いた時は既に同列車は發車してゐた、已むなくその母親は列車が吳家屯通過の際漸く取押へ方を手配し自分は急ぎ本溪湖驛到着と同時に下車し再び奉天へ戾つて來た、一方手配を受けた蘇家屯の係官は難なく彼女を取押へ奉天まで連れ戾して十一日母親へ固く護られて歸國したが彼女がかうした大膽な逃走を企てたについては左の如き經緯が傳へられてゐる 彼女には中島と稱する廿二、三位の青年があつた、彼女はその青年と惜別の念に堪へかね豫て示し合せ母親の隙を見て蘇家屯に下車したものであると

醫工兩大陸上競技
或ひは立消か

滿洲における陸上競技界で最も期待されてゐる滿洲醫大對旅順工大の陸上競技大會は毎年若葉薰る五月末最終日曜を中に開催されることになつてゐるが本年は工大側の競技種目が數種に減じ擧行したい希望と醫大側の從來通りで擧行し意義ある歷史を續けて行きたいといふ主張で今年早々來ゴテつき開催期を眼前に控へてゐる今日でさへも雙方の意見纏まらず開催するかしないかさへも決定してゐない有樣である、しかし事態に至つては實際上本月末に擧行ることは不可能なことで今春擧行さへなければ今秋に延期し開催されるであらうとも云はれてゐるが今の處、は今秋開催されるか否かも判明せず待望されてゐたこの醫工競技も或はこのまゝ立ち消えになりはしないかと杞憂されてゐる

徵兵適齡檢査

奉天署管內の徵兵檢査は既報の如く十二日から春日小學校講堂に於て施行されたが十二日は撫順の百八名、十三日は本溪湖、奉天の一部百十三名、十四日は奉天の大部百二十名である、尚十二日の檢査は大體良好であつたと

電車新線敷設

瀋陽市電車廳では新線敷設其他に關する協議會を開いたが、瀋陽總站に至る電車線は市政公所の許可あり次第經費洋二萬七千五百元を支出して着工する、第三期電車線路

分遣所の設置

として民家を收して實行、京奉と東寺站は小西邊門、第一繫場と改めることゝ其他を可決した

新城子居住民は同地方に於て匪賊の兇行事件頻發に鑑み守備隊分遣所設置を要望し再三當局に對し請願してゐるが十一日も同樣大森地方部長に對し奉天地方事務所を通じ設置方の陳願書を提出した

國粹會の總會

本部長並に役員の一部改選を行ひ更新の新陣容を整へた奉天國粹會本部では來る廿三日正午から奉天公會堂に於て春季臨時總會を兼ね本部長披露式を擧行することになつたが今後は各方面に亘り贊助員を募り從來の如き一部に偏した精神的團體機關をさけ一般的機關として思想の善導國民精神の作興その他武道の獎勵、無產階級者の生活安定等に活躍を試みるべく多大の期待を以て迎へられてゐる

港灣協會一行

港灣協會代表一行は中川眞吉氏を團長として東村滿鐵旅客係の案內で十二日午前十時半の北寧線で六十四名出發した

町のニュース

◇富士田音富久仁主催の長唄溫習會が十四日午後六時から奉天公會堂に於て開かれるがプログラムは末廣狩、越後獅子、八犬傳、俄獅子、新浦島、楠公、對の編笠、吳服
◇帝國在鄕軍人分會東分會では來る十七日午後一時から公會堂に於て第二回總會を開くと
◇十六日夜公會堂に於て修養團主催の童謠民謠の新舞踊觀賞會が開催されるがこの舞踊は純日本式のものなので奉天では最初の催しであると

人事

▲菱刈關東軍司令官 十一日夜過奉歸旅
▲水野錬太郎氏（港灣協會會長） 十一日過奉長春へ
▲秋田奉天車輛事務所長 十二日海城へ
▲遠藤奉天運輸事務所長 十一日夜大石橋へ
▲郭吉長鐵路局長 十一日夜來奉
▲奉中一年生五十名 十二日赴連
▲同第三年生六十二名 十二日公主嶺へ
▲下關米取引所視察團一行十三名 十二日五龍背より來奉
▲德島女子師範生一行五十名 十二日撫順往復
▲佐原篤介氏（盛京社長） 十二日夜行で大連へ

紅棒

內地の學生が毎日二、三百名は奉天を訪ふ▲その都度乘物は馬車が使用されるか自動車かのいづれかである▲此機會にさいふ根性からともするとボル者がある▲旅の客だといふ習慣の觀念に支配されるためだらうが▲見學團の多くは中等以上の學生が中心である▲さう大した餘裕のある團體ではないのだ▲いづれもみても親の脚に縋つてゐる者が多い譯▲だから十錢廿錢の金も馬鹿にはできないのである▲ところがどうか不正旅館業者中にはさうした乘物の上にまで手を伸し▲馬車の賃をハネてゐる心のよくない者もゐるさか▲金儲けも必要だが一寸したところから在滿日本人の根性を疑はれるやうでは全滿洲の邦人の迷惑であることを知らねばならぬ▲臘いことは早く止めること▲中國實業部では商人が競爭して品物を廉賣する▲其のため利益がなく稅金の支拂へぬ者がゐる▲これは國收上大問題だから廉賣競爭阻止の命令を出せとある▲釣上げたはかりが落ちるクワズの種

長春

不逞鮮人團に新しい組織
東方革命司令部

吉林を根城にする不逞團在滿朝鮮革命軍司令部はその首領李鐘洛を初め金光烈、朴雲礎、張素乎等の幹部が一月二十八日長春警察署に一網打盡されたゝめ統制部を失ひ同司令部は解體の止むなき事態に陥つたので顧問格であつた高額信は同僚安鵬と共にその善後策を講ずるため三月中旬舊革命軍司令部所屬の部下を自分等の部下と共に吉林に召集七日間に亘つて軍事會議を開催したがその結果、鐘洛の主宰してゐた革命軍司令部を正式に解體の上東方革命軍司令部を新たに組織し高額信を最高行政執行委員長に任命、安鵬を軍事部總指揮委員長に擧げ東方革命軍司令部を十三軍團に區劃し吉林、哈爾濱、長春、洮家屯、奉天その他全滿に設置、吉林の第十三軍團長に申永根を任命したるも各地軍團長は未だ適當なる人物なきため物色中だといふが本月中旬までには全部の任命を見る模樣である、關東州では獅子高の馬賊が横行して關東廳もこれに手古摺つてゐたが北滿では大正三年以來李鐘洛の朝鮮革命軍司令部には幾多の犧牲者を出し在住鮮人は勿論官憲もその暴虐を持て餘して漸く全幹部の逮捕を見安堵の間もなく今日高額信、安鵬等の幹部が主謀者となつて東方革命軍司令部を吉林に設置したことは北滿に散在する善良なる鮮人にとつて一大脅威であらうと見られてゐる

野球全長春軍

長春西公園も漸く木の芽が出て春氣分になつたがオール長春野球部では兩三日前より公園グラウンドと西廣場グラウンドとで練習を開始した、而して本年最初の對抗試合として來る十七日奉天醫大の野球部を迎へることになつたが長春市民は頗る興味を持つて待ち受けてゐる

大和通邦人宅に三人組拳銃强盜
一物も得ずして逃走

十一日夜八時三十分頃市內大和通十番地雜貨商竹下銀次郎（三一）方に三人組拳銃所持の强盜押入りしも一物も得ず逃走した事件があつた 一人の犯人は屋外で見張り、二人が屋內に進入し主人銀次郎に面會を强要したゝめ居合せたボーイは只今主人は不在で今夜は歸りが遲いから明日來て異れと拒絶したるに二人の犯人はイキナリ所持のモーゼル一號を突つけデハ居間に案內せよと命じた、危險と見たボーイは賊二人を自分の居間に連れ込んだところ屋外見張の賊が入り來りボーイを捻伏せて監視し他の二賊が主人の居間を開扉せんとしたるに開かずボーイに開扉せしめんと引ッ立てたがボーイは小窓から泥棒々々と連呼して賊の進入を告げたゝめ主人は電燈を消し便所より逃走せんとしたるも方法なく狼狽の結果ドアーに施錠をした、賊はこの施錠の音を拳銃を發したと感違ひして一物も得ず逃走したが急報と共に長春署は非常線を張り逮捕に努めしも遂に逸した

長春神社大祭

長春神社春季大祭は十四日宵宮祭、十五日例祭と決定、その次第は次の如くで杏花が滿開だけに花見と祭を一所にした賑かさが展開され市民の歡喜も頂上に達することゝだといふ

◇宵宮祭（所要時間三十五分）十四日午後六時一同參集、祓行事（拜殿前方祓所）參進所定の席に就く、祭典開始を氏子總代長に告ぐ、開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉、社務所にて直會
◇例祭（所要時間四十五分）十五日定刻前幣帛供進使氏子總代世話係、相談役等室町小學校內幼稚園及長春神社拜殿へ隨意參集
一、午前十時幣帛供進使神社へ參向、先導、御幣物（護衛官左右一人宛）供進使、隨員、參列員
一、神職及拜殿へ參集の氏子總代等の參列 鳥居前にて供進使を出迎ふ、供進使手水の事、祓所にて祓行事、所定の座へ參進、神職祭典開始を使に告ぐ、開扉、獻饌、神職祝詞奏上、幣帛供進使祝詞奏上、祭典終了を使に告ぐ、退出、社務所にて直會、一般參詣者へ神酒及御菓子を頒與
◇閉扉祭（所要時間二十五分）十五日午後九時一同參集、祓式、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉、直會

兩派出所擴張

關東廳警務局では今回長春警察署管下驛前派出所及朝日通派出所を擴張することゝなり近く工事に着手する筈だが、從來の平屋建を二階建に改築七月中には完成の見込だといふ

婦人講習會

修養團長春支部では十六日午後一時から、十七日午後三時から滿鐵倶樂部に於て第六回婦人講習會を開催することゝなつたが講師は本部理事竹內浦次、大阪聯合會理事高橋昭道兩氏で會費五十錢、出席希望者は室町小學校長野先生まで申込んで貰ひたいと

郵便局野遊會

長春郵便局では十七日午前九時より西公園に於て全局員の春季野遊會を開催すると

青聯月例會

青年聯盟長春支部では十二日午後七時半から五月の月例會を記念館に於て開催するところあつた

鼻疽馬撲殺

鼻疽に罹つた長春國際運輸支店の荷馬車馬五頭は十一日午後一時より地方事務所農務係員長春署保安係員立會の上北十條墓地附近にて撲殺解剖に附し燒却した

開原

開原デー運動會
プログラム決定す

開原デー運動會プログラムは競技係において左の通り決定
▲五月三十一日午前七時爆竹三發▲同八時二十分爆竹三發開會合圖▲同八時三十分開會の辭▲同八時四十分選手入場式宣誓式國歌合唱、來會者一同、運動競技開始（午前中は主として小學校、公學校、普通校學生徒の競技、午後は一般競技）▲同十時選手百米▲同十時三十分選手砲丸投▲同十一時選手五百米▲同十一時選手四百リレー▲正午爆竹三發休憩三十分▲午後零時三十分優勝旗返還式▲同一時選手走巾飛▲同一時四十分選手四百米▲同二時三十分選手圓盤投▲同三時選手走高跳▲同四時選手八百リレー▲優勝旗授與式▲閉會の辭爆竹三發

昌圖に强盜

昌圖附屬地經順大街九番地路上に於て去月二十四日午後二時四十分頃同地派出勤務巡査英良巡捕が一名の擧動不審者を認め誰何審問せるに逃走せんとしたので追跡逮捕せんとしたところ頑强に抵抗し格鬪の末漸く取押へて取調たるにローヤル拳銃を所持し居り身柄同行の上嚴重取調の結果同人は昌圖縣七家子無職張福山（二七）と稱し二十三日午後七時頃金溝子驛南方小灣屯附近に於て折柄通行中の荷馬車夫に拳銃を突き付け脅迫の上現大洋十三元を强奪し同日昌圖に赴き强盜を働かんと市中を徘徊物色中であつたことが判つた取調べ終了と共に身柄は十二日昌圖官憲に引渡した

信夫博士視察

太平洋會議調査會理事信夫法學博士は十二日第二八列車にて來開川崎長同道開原取引所、開豐汽車公司を視察し第十一列車にて奉天に向け南行

撫順

一千米繼走が勝敗を決定
奉撫對抗競技豫想

奉撫對抗陸上競技は大正十二年以來の州外スポーツ界重要行事であるその戰跡を觀るに第一回は問題起りドロンゲーム、二、三兩回は撫順勝、四、五回は奉天勝、六回撫順勝、七回雨の爲流會、八回奉天勝、九回（昨年）は奉天側事故の爲流會結局雙方とも三勝三敗の後を享けた大決戰を本年行ふ譯で兩軍の緊張振りは今や全く物凄いものがある、兩軍メムバー決定せる今日十七日爭霸戰の豫想を試みるに大略次の如くである

▲百米 撫軍は本年まだ一度も對外戰なきため現在本競技ランナーの實力は判らぬが、奉天今井は過般行はれた醫大對馬大戰で十一秒五、後藤は十一秒四を出してゐるが右二者と昨年一躍全滿のセカンドスプリンターとなつた撫順の田中（十一秒二）との間に花々しい戰が行はれたる後一着は斷然田中のもの
▲四百米 奉天柏木は五十四秒代だが續く片山の實力は不明なるも撫順の堀（現撫軍監督）なき今日撫順には不利な種目で勝目なし
▲千五百米 十日の豫選會で四分四十一秒の記録を出した奉天林と過般大連で行はれた滿日主催フルマラソンで初陣乍ら第三位をかち得た撫順の佐藤、是に續く鄭、この間に面白い白熱戰が演ぜられた上揚句一着撫、二着奉天、三着撫の見込
▲五千米 斷然撫軍に有利、久しく長距離界に優秀なランナーなきを嘆じてゐた撫順には最近油の乘りきつた佐藤始め鄭、西川等相共に異常な進歩を見せてゐるので撫軍全勝の見込
▲高障碍 奉軍は十七秒四の後藤晴山、柏木に撫軍は柴田、坂で對し何れが勝か全く逆睹し難い
▲走巾跳 滿洲一の撫柴田の獨壇場二等を目指して奉後藤、野田撫田中の接戰
▲走高跳 奉糸永晴山對撫柴田との間接戰奉軍は何れも一米六五附近故撫柴田優勢と觀らる
▲棒高跳 フキールド中白眉のゲーム撫淺坂、奉伊藤の兩鳥人一進一退實に手に汗する大接戰を演ずる筈
△砲丸投 撫西村の優勢な種目、二、三等は奉須藤伊藤のもの
▲圓盤投 トラックに於ける四百の如く撫に取つては不利なる種目、斷然奉軍の勝つ見込、たゞ撫仲摩が何の程度に奉に肉薄するかが見もの
▲槍投 最近病氣の爲め影を潜めてゐた撫岡田が敢然奮起する事になつたので撫頗る有利

斯く觀る時撫軍は第一位を占め得る選手は相當あるも續く選手なき難を有する故結局奉天とクロスゲームとなり最後の一千米突繼走が勝敗の分岐點となるのであらう、何れにしても兩軍是が非でも勝たねばならぬ二年越のこの戰ひは今や競技界人氣の焦點となつてゐる。

撫順側選手
役員も決定

州外陸上競技界の呼びもの滿洲に於ける早慶戰に匹敵する奉撫對抗戰は既報十七日正午より撫順永安臺にて行はるゝが午前十一時二十分前撫順驛前に兩軍入場式、奉主將伊藤、撫軍主將柴田二氏により國旗掲揚式あり次で本大會の大垣研氏の挨拶、兩軍主將の握手、滿日寄贈の優勝旗並に優勝カップの返還式につぎ正午百米をきつかけに純記録本位の刮目すべき競技の幕は切つて落される、十二日決定した當日出場撫順側選手次の如し

△監督堀鐵一郎△主將柴田義敏△百米田中盛一、川崎秀雄（補）淺坂、柴田△四百米川崎秀雄、宮田誠作（補）淺坂△千五百米佐藤勇男、鄭仁秀（補）西川△五千米佐藤、鄭（補）西川△高障害淺坂正一、柴田義敏（補）城市△走巾跳柴田義敏、田中盛一（補）宮田△走高跳澤田石三雄、柴田義敏（補）城市△棒高跳淺坂正一、宮田誠作（補）仲摩△砲丸投西村政平、仲摩壽（補）後△圓盤投仲摩壽、後水無一（補）西村△槍投岡田勝義、西村政六（補）柴田義敏△一千米繼走田中盛市、淺坂正一、宮田誠作、川崎秀雄（補）柴田

同大會の役員次の如し

△會長大垣研（庶務課長）△役員長前島昇一（東鄕採炭所長）△總務川鐵一郎△監察員今泉□、名嘉地用命、西尾時雄、村龍吉、幸享△決勝審判員山本房松、木谷辰巳、本田萬、山崎一雄、北信義、伊藤清△計時員山口直一、永田勝志、谷村健介△出發合圖員堀鐵一郎△跳躍審判員橫山英勝、土橋貞敏、福島福二、小中義美△投擲審判員佐藤重藏、十川彌市、黑田德次、小貫義男△召集員山□駒太郎、根北常彦、柳田眞直△記錄員原田周藏、稻川三郎、梅田正太、白小一夫▲救護員田邊甲樹外看護婦數名

當日のプログラム次の如し

△百米、砲丸投（零時）△千五百、走巾（零時半）△圓盤（一時）△高障碍、槍（一時半）△四百、走高（二時）△五千、棒高（二時半）△一千米繼走（三時）

遼陽

數分間にして火災を起す
自動車放火事件豫審終結

鞍山乘合自動車營業吉川秀藏が火災保險金詐欺の目的で使用人片山仙多をして自動車に放火せしめ保險金を騙取した事件は豫て遼陽領事館で審理中の處十二日八ケ代司法領事から左の通り豫審決定の言渡があつた

本籍福岡縣三井郡金島村中川七百八十五番地 現住所鞍山（元大正通二丁目八六吉川秀藏方） 片山仙多 當三十年

本籍三重縣安濃郡高宮村大字五百部一〇四一 現住所鞍山北三條町一丁目十一番地自動車營業 吉川秀藏 當三十八年

右片山仙多に對する放火吉川秀藏に對する放火教唆並に詐欺被告事件に付檢事事務取扱外務省警部菊地德三郎の意見を聽き決定すること左の如し

本件を關東廳地方法院の公判に附す

一、被告片山仙多は昭和五年八月頃より鞍山北三條町一丁目十一番地乘合自動車營業吉川秀藏方に自動車修繕の爲め雇はれ中同人が營業上使用中の大型自動車二臺及小型自動車一臺に對し三井保險部に金一萬四千圓の火災保險を附し該自動車を故意に燒失したる上保險金を獲得し營業の振興を計らんとし被告片山に對し昭和五年十二月中旬以後本年一月十日頃までの間に三四回に亘り放火を教唆したる爲被告片山は相當謝禮を受くる約束の下に之を諾し本年一月十六日夜鞍山大正通二丁目八十六番地自動車車庫に於て大形自動車の修繕場所たる「ピント」の上に置きたる七輪を使用し自動車の修繕を爲し同夜午後十一時頃夜食を執る爲め二階に登る際豫て吉川との約束を履行し放火を決行する爲め炭火を盛りたる七輪を自動車の「エンジン」「オールケース」を外しある下方に差入れ置き（ピットの中に箱を置き其の上に木材を重ね其の上に七輪を置き七輪とエンジンの距離を近くす）「エンジン」の油が七輪の火に落下し「エンジン」に附着し居る油に燃え移り次で附近にある「ベンゾール」油に點火し火災を起すべく裝置したる上二階に上りたるに數分間にして自動車三臺を燒き尚現に人の居住する車庫の天井を燒毀するに至りたるものなり

一、被告吉川秀藏は昭和五年十二月七日三井保險部との間に大形自動車二臺小形自動車一臺を金一萬四千圓にて火災保險契約を締結し居るを奇貨とし保險金詐取を企て自己の使用人片山仙多をして右自動車を燒燬すべく利を以て之を教唆し同人をして本年一月十六日午後十一時頃前項方法に依り放火せしめ該自動車及現に人の居住する車庫の天井を燒燬せしめたるものなり

被告吉川は前項の如く相被告片山をして保險の目的物を故意に燒燬せしめたるものなるに拘らず三井保險部員に對し失火なりと欺き遂に三井保險部員をして過失に依る失火なりと誤信せしめたる結果火災保險金八千九百四十圓を騙取したるものなり

以上の事實は公判に付するに足る犯罪の嫌疑充分にして法に照すに被告片山の所爲は刑法第百八條に被告吉川の所爲は刑法第六十一條同第五十四條後段同第百八條第二百四十六條に該當するを以て刑事訴訟法第三百六十二條明治四十一年法律第五十二號滿洲に於ける領事裁判に關する件第二條を適用し主文の如く決定す

小切手變造事件判決

元遼陽更生會書記安藤和雄（三〇）は有價證券變造行使、詐欺及業務橫領、坂東秀子（二二）は同犯人隱匿罪で遼陽領事館に於て審理中の處二日八ケ代法領事から橫領金全部も辨濟し被害者側から寬大の處置ありたしとの申立もあり且前途ある青年だからと非常に同情され懲役十ケ月執行猶豫五年の言渡しがあり坂東秀子は罪の言渡しがあつた

人事

▲福島旅團長（遼陽駐劄） 十二日急行で南行
▲稻垣拓務書記官 は丁野屬を經へ十五日來遼の豫定である

安東

北白川宮殿下
安東御視察

北白川宮永久王殿下には陸軍士官學校生徒の御資格にて滿洲戰跡見學の一行に御參加御豫定の通り十一日午前七時安東驛に御着遊ばされた、これより先驛ホームには米澤領事、井上地事所長、石川平北知事、立川新義州法院長等を始め官民有志の御出迎へあり殿下には士官候補生の御服裝にて御降車遊ばされホーム堵列者に御會釋を給ひつゝ折出驛長の御先導にて階上貴賓室に御休憩、御朝食を攝らせられ給ひ同八時十七分御先導、御誘導元の如く驛玄關より御巡路大和橋通りより京訪御通過江岸に至つて御乘船義州統軍亭に向はせられ戰跡御視察の上御豫定の通り午後二時三十分御假泊所たる安東ホテルへ御機嫌麗しく御歸還遊ばされた

營口

港灣協會一行

水野港灣協會長一行は既電の如く十日午後一時臨時列車にて來營直に埠頭より新島丸及法丸の二船に分乘し河北驛に到り更に牛家屯の石炭棧橋の視察をなし上陸後は三々五々市中の見學をなし同三時十分頃には各部驛構內の休憩所に入り松本接待委員長遼河の歷史的發達の經路を略述し歡迎の辭を述べ之に對して一行の太田丙四郎氏謝辭を述べ互に乾盃をなし午後四時發の臨時列車にて多數の市民に見送られ出發した 水野會長の一行は該視察班とは別個の行動を取り營口驛發汽艇にて遼河の視察をなし荒川領事、栗屋地方事務所長、千里驛長、長岡技師長、林警察署長、片桐書記生、小川滿新社長等同乘河北驛視察をなし東稅關にて上陸市街の視察をなし地方事務所に立寄り小憩の後同三時二十五分發の普通列車にて湯崗子に向つた

徵兵適齡檢査

當地の本年徵兵適齡者身體檢査は十日大石橋小學校內に於て行はれたるが檢査官は同地守備隊長石田中佐であつた檢査人員は二十六名丹野兵事係樋口在鄕軍人分會副會長引率赴橋した甲種合格者は佐藤正志（營口驛）中村千代松（同上）大矢連（天泰公司店員）岩本俊一（消費組合）の四氏であつた

修養團朝起

修養團では從來朝起行事を毎朝六時としてゐたが明十五日朝から五時半集合とする由、集合場所は神社境內にして爽かな朝の靈氣にひたりすがすがしい氣分となつて國民體操を行ふは修養團員ならでは味はへぬ爽快味であり團員は勿論一般多數の參加を歡迎すると

紅い夕日

◇日露の戰塵未だ收まらぬ明治三十九年五月十一日兩國委員に依り双廟子四平街間の鐵道及その附屬地並に建造物の引繼をなした記念の地當驛東北二丁のところにある忠魂碑公園の東端で當時の委員中只一人の存命者である現早大教授信夫法學博士來滿遊歷を機會に廿五年前の昔を懷するため十二日午前七時關係者集まつて記念撮影をした【四平街】
◇開原郊外龍譚寺は沿線にも聞えた杏梨花の名所で昨今滿開の見頃で去る十日の日曜日開原縣長以下各課長公安隊幹部學校職員各機關代表等官民合同の大觀花會を催し堂々百二十餘名の一團が繰出したのでこれが護衞警戒の爲め公安隊は全員總出動大騷ぎの花見であつたと【鐵嶺】
◇近來亦々日本紙幣一圓札を五圓札に變造行使する者あり過日朝鮮銀行開原支店及び秋田屋金物店方とにおいて發見されたが紙幣の表裏共に「壹」を「五」に「1」を「5」に實に巧妙に變改したものである【開原】
◇鐵嶺縣財政局職員は局長の發案で孫總理崇拜主義を發揚する爲め來る六月一日から全部服裝を中山服に制定し毎日午後二時を期して孫總理の肖像に禮拜することと定めたと【鐵嶺】
◇十一日午後三時半頃奉天驛構內に於て貨物入換作業中機關車から離した廿輛連結の貨車が同線にあつた五輛連結の貨車に衝突し離した貨車の三輛目の貨車が反動により眞二つに折れ脫線した幸ひ人畜に被害はなかつたが損害は約千圓であると【奉天】

旅順

女學生も出動し赤ちやんの審査
第一日は六十九名

旅順市役所主催第二回赤チャン審査會は既報の如く十二日午後零時から關東廳醫院小兒科に於て開催玉置醫長津代兩醫官に關東廳からは武田技師難波教育主事等立會旅順高等女學校補習科生徒は大原女史に引率され門番として白粉の種類同胞の散粟方法、寢椅カバー等又は介添へ等やがて母となるべき實習の應援介添あり身長體重頭圍胸圍診察總評等につき順次審査を行つたが第一日の受審した赤チャンは六十九名を數へた

市調査委員會

旅順市役所では來る三月二十六日第五十四回市會に於て議決した諮問稅金電氣料金水道料金官有土地借地料等に關する調査に關し來る十四日午後一時から委員會を開催する

陸大生招待會

永山旅順市長は十二日午後六時より偕行社に於て十二日來旅した陸軍大學々生四十九名を招し晩餐會を催した

日淸寺報恩會

白玉山日淸寺においては既報の如く十二日午前十時から立正大師日蓮大聖人六百五十遠忌報恩會を修行したが信徒午後三時より說教等ありて參詣人多數に上り寺內は今や紅白の幸幕滿開數十本の萬燈は飾られ太鼓の音も賑はしく三十餘名の愛稚兒は音樂に連れ市中を練り盛大を極めた

崖下に顚落

十二日午前一時過ぎ旅順王家店會官房子屯農業林繼春林良の兩名は荷馬車と共に自宅より沙河口に赴く途中蔡大嶺を通行の際馬が狂奔し馬車諸共約三十尺の崖下へ顚落し通行中の者に發見され直に慈惠病院へ收容された

西本願寺法要

旅順西本願寺では例年に依り來る十七日午後零時半より宗祖降誕會慶讃法要を厳修するが當日は三十七八年戰役に際し本願寺へ賜りし勅語捧讀講演餘興として池の坊の献花、模擬店を開催する由

開原

驛の運賃割引

例年の如く郭家店の杏花が滿開各方面より花見の清遊者が增加するので公主嶺驛では左記の割引乘車券を發賣す 往復一人につき二等一圓十二錢三等六十二錢子供は半額發賣期間は發賣當日限りにして途中下車は前途無效とある

梨樹縣に馬賊

郭家店驛の北方梨樹縣四家子住農周老九方に十一日午後五時五名組の馬賊侵入拳銃を發射一名の使用人に貫通銃創を負はせ家人を威嚇現大洋百五十元及衣類數點を强

金州

閑院宮殿下 十五日御來金

陸軍大學校生徒の御資格を以て同校生徒五十餘名と共に御來滿あらせられた閑院宮春仁王殿下は十五日御來金、南山戰蹟、金州城、龍王廟等の御見學を爲さるゝ筈

鐵嶺

鐵嶺代表悄然と歸る

全滿商工業者一致結束猛然と起つた例の營業稅實施反對の運動には鐵嶺縣からも十名の代表を派遣し奉天では一千餘名の代表者が猛烈な運動を續けてゐたが泣く兒と地頭には勝たれぬ譬へ通り結局全省一致の運動も財政廳の一喝で水泡に歸したるらしく鐵嶺代表は十一日朝悄然と歸鐵したが更に第二の運動を開始する爲め商會總會主席は即日奉天に急行した

商工議員會

當商工會議所では明十五日午後三時より同所樓上に於て議員會を開き前年度の決算並に本年度豫算審議を行ふと

十三日より昭和園で
中村歌扇觀劇會
この券持參者は特等一圓五十錢、一等一圓、二等七十錢に割引
後援滿日旅順販賣店

清楚な薄化粧に
素顔の美を活したい

暖かくなりまして今まで枯木の様に見えた木々の梢がめざめる様な新緑の芽を出し日に〳〵美しくなつてまゐりますが私ども人間も同じやうにやつさ重くろしい冬の生活から解放されて溌剌さ活動が出來るやうになりました、從つて生活機能も盛んになり新陳代謝が旺盛になります結果、御婦人方に特に大切なお顔にニキビや吹出ものが出たり荒れたりするやうになりますからこの際お手入が肝要です、皮膚の手入が普段行屆いてゐませんさいくら高價な化粧品を使ひいくら手をつくして見たところで到底充分の化粧美を發揮する事は出來ません、殊に追々暑くなつてまゐりますさゴテ〳〵さ濃く塗りたてたお化粧は見た眼にも暑苦しく思はれますからう、つすりさ清楚な薄化粧に素顔の美を活かしたいものと思ひます、で荒れやすい春先の膚のお手入さ化粧品の選び方について申上げませう。

肌の美を保つ注意のかずく
春先の膚の手入と化粧品の選び方

肌を清く 保つには食餌、運動、睡眠等に就いても充分の注意が必要です、筍などは精分が強すぎて餘り召上ると吹出物が出たりします、ニキビの多い方は限つてよく便秘なさる様ですが毎朝生水を飲むとか果物を澤山召上るとかして便通をよくしなければなりません、入浴も必要ですがお顔などはタオルでゴシ〳〵擦るのは止して、良質の石鹸か洗粉で輕く洗ひ流す程度にして頂きます、次にクリームの選擇ですが地肌を整へるのにはこれが一番大切です。一口にクリームと申しましても

多種多様 で、大きく分けて、油性、中性、乾性の三になります、第一に油性（脂肪性）クリームですがコールドクリームとかナイトクリームとかいふのがこれで素人が見てもギラギラ脂ぎつて見えます。脂肪の少い荒性の方にはこのクリームがよろしく、脂肪性の人にはいけません、次に中性クリーム、化粧下に用ひるバニシングクリームといふのがこれです普通の方で少しお顔の荒れた時、汚れた時など拭き取りに用ひるのに適當です。最後に乾性クリームでポムピアンのマッサージ

クリーム などがこれです脂性の方でしたら乾性クリームを耳かき一つ位掌にとり、化粧水で乳狀位にドロ〳〵に薄めて顔にぬり、鼻の頭など脂肪の多いところは特に濃くぬつて輕くマッサージをし脱脂綿で拭取ります。普通の方の日常朝のお化粧には洗顔するのを止して油性クリームをぬり暫くマッサージした後を脱脂綿で拭き取り、熱いタオルを絞つて後を更によく拭き、次に酒精分少い

化粧水を 脱脂綿につけて充分よく拭きとります、このあとにお好みの化粧品でお好みの化粧法を施せばいゝのです。化粧品の選擇上特に御注意を促したいのは誇張した宣傳や廣告に迷はず、自分に最もよく合ふ化粧品を選び出し、場合によつては數種の化粧品を混ぜ合せて使用されるのは最も賢い方法だと思ひます、當地では外國品が内地より遙かに自由に廉く手に入りますが、歐米人は粉化粧を主とするためにクリームや粉白粉は遙かに内地製品より質が優れてゐます、で

國産獎勵 の趣旨に反しますがきめの細い方なら少し荒い舶來の粉白粉を、きめの荒い方は反對にこまかい粉をお使ひになる方がよろしいやうです。水白粉や化粧水は内地品の方が日本人にはシックリするやうです【東京美容院主德永千代子氏談】

埃及の女

マホメット教を奉ずる女は皆年頃になると頭の上から黒い布を被り眼の下から永い黒色の面紗を垂れ、鼻の上にヤシコクといふ金か又は眞鍮の飾りをつけて居る、下流の婦人は黒紗の代りに白紗を同様眼の下から垂らして居る、國外では顔の全體を見る事は出來ない、かつぎと面紗の間からのぞく特有の黒い大きな眼は美しいといふ人もある、ナイル河の岸を……水甕を頭上にのせて歩く様はカイロの風景の一つであらう

單帶のシーズン
人絹物全盛
お値段は昨年より二、三割方やすい

經快な セルやメリンス上に、キユツと締上げた單帶の感觸の快さ、何といつてもこれからは單帶のシーズンです。難になるのは洗濯が困難なのと、この缺點を具備しながら一般には人絹物が全盛です。出來上りの素晴らしさしかも値段は一圓五十錢から四、五圓とは何と廉いぢやありませんか、上物は十圓位から、しかしこれには未だ

人絹が 幾らか交つてゐます、でも難になるとか解けるとかいふ心配はありません、模様は昨年と大した違ひなく、草花模様の、それも純 本式のものでなく非常にモダン味を帶に近代化した草花模様が多いやうです。變り織としては風通紬に古代模様を置いたのが十五圓前後、數千圓の賞金附で宣傳してゐる白眉織や主婦の友で推奨してゐる若 織は十五圓前後でやはり多少人絹が交つてるさうです。これ等は兩端が二重の袋織になつてゐるところが

新意匠 です、色は若い人にはローズ系統か、明るい派手なグリーン、中年向として藤色系統か、白と黒とのは、きりした模様など、老年には依然として鼠、茶が迎へられてゐます、純絹物としては昔ながらの博多で二十圓位からありますが、いづれも昨年より二割乃至三割方安くなつてゐるさうです

全盛の人絹單帶

家庭常備　健胃強肺　日露丸　各藥店ニアリ・發賣元　大連　日本壽藥會社

少女劇 捨てゝゆく島（上）
中條辰夫

場所　緑ケ島の海邊
時　夕暮方——月靜かに地平線上にうかぶ
人物　老燈臺守　島の少女數名

少女甲　まア……老爺さん此處さころに何をしてゐらつしやいますの？
老爺　…………
少女乙　此處にゐらしたの？私達は、まアどんなに諸方を搜したか知れませんわ。
老爺　…………
少女丙　でもよかつたわ。みつかつて——れ老爺さん——おれがひですから起きてくださいな。
少女數名　（聲を合せて）どうぞ小父さん。起きてくださいな。れどうぞ。
（この時、老爺砂上より半身を起し）
老爺　……いや、孃さん達、默つてくださるな。ほんたうに放ばいたかけて濟まない。けれども俺は、最う行かなければならんのだ。
少女乙　……あらッ。行くつて、老爺さん何處へいらつしやるの？
少女甲　老爺さんが何處かへ行かれたなら、この島はくらやみになつて了ふぢやありませんか。
少女丙　さうもて、彼の燈臺は、誰が護るのでせう？
老爺　然うだ。俺が行つて終へば、この島は暗になるだらう。けれども、それはほんの一時の間だ。間もなく、この島人の誰かゞ俺に代つて、この燈臺へあかりをつけるだらう。

けれども、二度と燈火のつかなくなつて終つたのは、この、俺の胸の中だ。
少女甲　……どうして老爺さん？私何んだか寂しくなつて來たわ
老爺　もう俺の胸には、光が消えて了つたのだ。そして、俺はこれから先は、暗い〳〵闇の夜道を、一人で行かなければならないのだ。いや、ほんたうに行かなければなりませんのじや。孃さんたち——どうか、もう俺に構つてはくださるな。
少女丙　老爺さんのおつしやることは、私達には、よくはわからないんですけれど——ほんたうに、何だか悲しい心持がいたしますわ。
少女乙　……ほんたうにさうですわ。
老爺　……いや、さうだらう。さうだらうとも。——だが、やつぱり俺は行かなければなりませんのじや。磯邊につないである小舟を指して
老爺　その小舟へ俺を乘せてやつてください。——最う行かなければなりませんじや。
少女甲　老爺さんのおつしやることは、よくは解らないんですけれど、どうしてそんなお考へをおもちになりましたの？ええ？老爺さん。
少女乙　何故私達には解らないのでせう。この島では、私たちは老爺さんの一番仲よしですのに
老爺　夫れは全くだ。けれども、それでいゝのだ。一體、物事といふものは、餘りよく解らない方がいゝんのだ。解つて終へば悲しいことが多かつたり、つまらないことが多かつたりするものだ。若い皆さん達には。この世のことがよく解らない。だから、何も彼も樂しいことばかりだ。俺のやう、年齢をとつて終ふと、何もかも、みんな悲しいことに思はれてくるものだ。
少女丙　あら、不思議ね。どういふことなんでせう？——少し位お話してくだすつても可いでせう。れ。老爺さん。
老爺　ハハハ……ぢあゝその少うし位をお話しませうか。さうしたら、何故三十五年も住み馴れたこの緑ケ島を見捨てゝ、人知れず遠いところへ行つて終はうとしてゐる俺の心持が解つてもらへるかも知れない。この話をきいて、俺の心持が解つたなら、皆の人達へ、よく告げて呉れるのですよ。
數名　ええ、いゝわ——老爺さん

日ノ丸號ノユクヘ（五十八）
次朗

「ヒノマル、ミツヲ」コレモ　ミ　フネ　ガ　シマ　ニ　ツク　ト　ナカニハ　ハタシテ　ミツヲ　ツヲクンノダ、フネ　ハ　リク　太郎ハ　ニツノ　カン　ヲ　カ　ノ　テガミ　ガ　ハイツテ　キ　ニ　ムカツテ　コギハジメタ、カヘテ　イソイデ　テント　ヘ　タ、太郎ハ　ムネ　ヲ　オドラ　「ハヤク　ナカガ　ミタイデア」カヘツテ　スグ　ヒライテミタ　セ　テ　ソレ　ヲ　ヨンダ

御機嫌麗はしく 午後も御見學
御滯旅第二日目の 閑院宮春仁王殿下

十三日、旅順二龍山にて御晝食を終らせられた閑院若宮殿下には御小憩後大塚在郷軍人分會長より往年の實戰談を御聽取當時の激戰をお偲び遊ばされ、午後二時東鷄冠山東堡壘にお成り、石原參謀より一般の御説明、福島第三旅團長よりは當時の歷戰者として同地附近の戰鬪について説明を御聽取、同五時同地御發、偕行社における軍司令官の御招宴　御臨席、御日程第二日も無事御見學あらせられたが、お疲れの御樣子もなく至極御元氣に拜された

御同窓生が 御歡迎會
小田原中學出身

閑院若宮殿下の御來滿を記念する御出身校小田原中學校同窓生は滿洲相洋會を創立、十五日午後四時卅分からヤマトホテルにおいて發會式を擧げ、同六時殿下の台臨を仰いで御歡迎會を催し殿下を御中心として懷しい中學校時代の懷舊談や同窓生一同の活動狀況等を言上する筈である、右につき相洋會の幹旋に奔走中の石田昌氏は語る

十二日殿下が周水子を御通過の際、同窓生一同を代表致しまして、佐藤、市川兩君と共に御出迎申上げましたところ、圖らずも貴賓室で御引見を賜り色々と有難い御言葉を戴きました、久々に御姿を拜しました私共はお懷しさの餘り率直に御歡迎の準備等を言上しましたところ殿下にはポケツトから御　程表を御取出し遊ばされ「十五日の晩は暇があるから、ユツクリ昔の話でも聞かう」と仰せになりまして、同窓生の微意を御嘉納になりましたので私共は非常に感激致しました、沿線の同窓も集りまして長いことながら御旅情を御慰め申上げる考へです

偕行社で 御招待宴
ゆふべ菱刈軍司令官が

十三日午前九時奥地より歸旅せる菱刈關東軍司令官は午後六時より殿下を御初め各大學生を偕行社に御招待盛宴を張つた、來賓として厚東要塞司令官、佐野主計總監、香月大學校幹事、三宅參謀長、福島第三旅團長、大山法務官、二宮憲兵隊長、三間大學教官、坪井聯隊長、板垣高級參謀ほか各幕僚、軍司令部各部長等陪席、特に大塚在郷軍人分會長、津田博物館長、木田德太郎、松崎隆義の四氏も御陪食の光榮に浴した、殿下にはいと御機嫌麗しく御歡談、同七時五十分ヤマトホテルに御歸還あらせられた

滿洲館に 御招待
十四日の夜

滿鐵では十四日午後六時から滿洲館において閑院若宮殿下を始め奉り御附武官、香月陸大幹事及び教官へ御申上げ晚餐會を開き滿鐵側からは八平副總裁以下各理事御陪食を仰せつかる、尙陸大生は滿鐵社員俱樂部に於て同日午後六時から招待し各課長出席接待する

また滿鐵會社では閑院若宮殿下御來連を機として花瓶一個獻上すると

馬術を台覽

御來連中の閑院宮春仁王殿下御迎のため滿鐵馬術部では十五日午後五時より約三十分間に亙り大江町同部馬場に於て馬術の台覽を仰ぐことになつた、この光榮に浴する騎手は指揮戸高少尉、松尾、宇田、林、高木、藤井、高橋の六部員で又大連競馬俱樂部では州内産優良馬十頭滿鐵より新馬一頭を同所に於て台覽に供することになり又一般にも參觀を許されることになつた

十五日御日程

閑院宮殿下の十五日御日程左の如くである

午前六時四十分ヤマトホテル御發同六時四十五分御着、同六時五十分大連驛御發金州驛へ、同七時四十三分御着の上南山麓へ同地に於て南山附近の戰鬪に付き講話、三宅少將平田大佐江澤大尉、同七時五十六分同所御出發南山戰蹟碑へ、同九時十八分發南山戰蹟碑御出發南山麓を經て南門城壁へ午前十時十九分御到着、同十一時十九分南山城壁御發金州驛へ御着の上午前十一時三十四分御出發大連驛へ午後零時二十五分大連驛へ御着、午後零時二十五分大連驛御發徒歩にて工業博物館へ、同一時十分同所御發徒歩にて滿蒙資源館へ、同一時五十五分滿蒙資源館御發午後二時二分中央試驗場へ御着同二時五十分中央試驗場御發協和會館へ、同五時協和會館御發關東倉庫馬繫場へ、同五時三十五分同所御發午後五時四十一分ヤマトホテルへ御到着

御警衛の注意

十四日午後六時二十分發旅順行列車、十五日午後零時卅五分發旅順行列車及び十六日出帆うらる丸の乘船時刻は閑院若宮殿下御警衛の都合に依り出發間際に交通遮斷せられることがあるから一般人は早目に乘船、乘車せられたいと

關東廳令變造事件 どう展ける？
囑託した元審議員の訊問調書 一名を殘し全部到着

元關東廳衞生課技手近森監介氏の證言に端を發しわが裁判史上に空前の大波瀾を卷き起してゐる關東廳令變造事件は、旣報の通り大連地方法院川畑豫審判官から內地各區裁判所に囑託せる該廳令制定當時の關東廳審議員諸氏の訊問調書の廻送を待つてゐたが、去る七日當時關東廳保安課長で前福岡縣內務部長、現臺灣總督府文教局長大場鑑次郎氏の證人訊問調書が廻附されたを

皮切りに　十三日までに元關東長官、現朝鮮總督府政務總監兒玉秀雄伯、元關東廳文書課長で現鳥取縣知事神田純一氏、元警務局長で現岩手縣知事久保豐四郎氏等の調書が到着した、これで元關東廳財務課長で現拓務省文書課長阪谷希一氏の分さへ到着せば全部出揃ふ譯であるが、阪谷氏の調書も兩三日中には廻送される模樣であり、この結果豫審判官の手許より大連檢察局に廻附される

は本月廿日前後と見られてをり、同時に池內檢察官は收容中の近森と、放還中の川合兩氏の取調べの結果と、託訊問の結果を齎し、塚本關東長官と會見

重要協議

を遂げるものと觀測されてゐる、而して其後に於ける檢察局の態度はこゝもと注目の焦點とされてゐる、卽ち檢察局が白川一味のベンゾイリン事件に對する公訴權放棄といふ重大處置に出づるか所謂の見解通り公判再開を請求し公判廷に於て該廳令の效力問題を爭ふかの二途にあり、いよいよ一般の視聽を集めるに至つてゐる

近森監介氏 引續き拘留

收容中の近森監介氏の身柄に就いては係辯護士相川米太郎氏から屢々檢察局に放還方を願出てゐるが檢察局では內地の囑託訊問調書が出揃ひ、最後の方針を決定するまでは出所を許さぬ意向の下に、十三日拘留期限が切れると同時に豫審判官に拘留更進を請求し、本月二十三日までの拘留期限を附した

天橋立遊覽飛行
城崎溫泉組合で計畫

【東京十三日發】兵庫縣城崎町溫泉業組合西村さん氏外二名は豫て城崎、天の橋立間遊覽飛行を計畫し遞信省航空局に許可出願中のところ航空局は同地が要塞地帶に在るため海軍當局の意向を聞き近く許可するはずである、最初の豫定では五月一日から營業開始のはずであつたが、許可が下り次第開始のはずである

滯空二百九十時間

【東京十三日發】日本染織會社の大煙突に上つてゐる煙突男地場浩は十三日正午で耐久二百九十時間の記錄を作つた、併し身體の衰弱は極度に達し十三日午前八時十分同僚が携へて登つた牛乳一合は一口も飲まず口を利くことも出來ない程で危險は刻々に加はつてゐる

田鳴競獵會

大連獵友會では來る十七日の日曜に春季田鳴競獵會を催すが、獵場は三十里堡、西單甌、愛川村一圓に限り、出發は當日午前三時吉野町滿タク前に集合の上滿タク自動車にて獵場へ赴く筈であるが獵後三十里堡において野宴會を催す豫定である、會費は一圓外に自動車賃二圓五十錢

滯坑五日で 圓滿解決

【門司特電十三日發】福岡縣嘉穗郡幸袋町製鐵所經營高尾炭坑の爭議は十三日午前三時頃籠城組代表及び地下爭議團代表四名が久總同盟主事と共に縣警察部立會の下に炭坑側と最後の交渉を行つた結果同五時頃に至り漸く妥協成立したので代表は坑內に歸り籠城組の承認を求めるが、滯坑五日で新記錄を作つた大爭議も圓滿解決した

時の記念日に 功勞者を表彰

來る六月十日の時の記念日擧行を機とし財團法人生活改善同盟では「時の功勞者」ならびに「生活改善功勞者」を表彰する事になつた旨關東廳より大連民政署に通牒あり、該當者の調査かたを依賴して來たので目下民政署當局では該當者の

一、住所職業氏名生年月日（團體の場合はその名稱及び代表者）
二、表彰に値する事績
三、經歷の大要
四、其他參考事項

に就いて調査中である

國枝史郎氏 座談會
連載小説の挿畫を 一流畫家が執筆 （五）
見のがせない製版の進步

時日　五月七日夜
場所　社員俱樂部
出席者（順序不同）
國枝史郎氏夫妻　石原巖徹氏
田中捨一郎氏　大庭武年氏
竹內本社主筆　淺枝次朗氏
山口海旋風氏　工藤本社記者

たいのですが……

大庭　最近の探偵小説の挿繪には非常にグロテスクなものが多いやうですが、グロテスクである必要がありませうか

工藤　次に挿繪についてお話し願ひ

山口　それは作品にもよる、例へば江戸川亂步氏の作品等はグロテスクな挿繪が入つてゐる方が讀者には效果的である

大庭　挿繪によつて創作感想が變ると云ふことがありますか……つまり、雜誌や新聞の連載物などの場合に……

國枝　大いにありますね、近頃の挿繪を書く人のやうに全てに於てくわしい考證をしてある繪を見ますと、自分の書いてゐる人物が畫になつてからの技術、着物の柄、恰好又は土地風景等全て新らしい感じを起させるものです

工藤　近頃の挿繪は非常に變つて來ましたね……

國枝　つまり從來の挿繪畫家が逐はれて、一流の畫家が挿繪を書くやうになつて來たからでせう。それに製版技術も非常に進んで來たので繪が自由に書けるやうになつたのでせう

工藤　變つた傾向では石井鶴三氏等が最初に挿繪を書いた人ではないでせうか、例の大菩薩峠が大每に掲載された時……

大庭　新聞社も挿繪を優遇して來ましたね

工藤　畫が惡いと讀んでもらへないのでね……國枝さん、挿繪畫家に對する好みはどうです

國枝　好みと云つては別にありませんが、一番作品の上でつきあひが多いだけに、私は岩田專太郎氏が最も親めるやうに思ひます。その他主に書いてもらふのが伊藤幾久造氏、小田富彌氏等で、小田富彌氏は私が「苦樂」に書いた「神州纐纈城」に挿繪を書いたのが今日の如く成功する始まりだつたと聞きましたが私も非常に感じました

淺枝　チヤンバラものの挿繪では矢張り專太郎氏が一番うまいやうに思ひます

工藤　新聞小說の挿繪は乘せる面によつて非常に考へねばなりません、いくら專太郎氏のものでも夕刊一面、つまり堅い政治面の下の小說にはむきませんからね

國枝　昔は同じ人物の挿繪を描くにしても半身や、七分身が多かつたが、近頃は殆ど全身もの、みです、これも一流畫家が描く關係だらうと思はれます

石原　それに近頃は繪の中へ字を書き込む事が流行つてゐるやうですね

工藤　ここに河野通勢氏等は繪の眞ん中へもつてきて、通勢　書き込んでありますよ、第一通勢氏の繪そのものから隨分變つてゐますね

淺枝　あゝいつた風のものは岸田劉生氏が最初の人だと思ひます、つまり油繪を書き乍ら、浮世繪を研究した結果あゝいつた風の繪になつたので、草土社の連中が始めたものです

工藤　どうも色々と御話を願ひまして有難う御座いました、ではこれ位で――（完）

若葉の影から　大廣場所見

東海道線列車 に不穩文句

【東京十三日發】十二日午前九時東京驛着の神戸發一、二等急行列車の二等寢臺車五七二三號の車掌室の板に「ストライキを決行せよ國有鐵道の資本主義云々」と云ふ不穩な文句をナイフやうの刃物で刻み付けてあるのを加藤專務車掌が發見、直に上司に報告したので鐵道局では直に板を塗り替へ不穩文句を抹消したが、同列車は去る十日下り十七列車として神戸で十數時間停車してゐたのでこれを刻み付けた犯人は全く見當が付かない、しかし鐵道從業員であることは疑ひの餘地がないものと見られるが、業員の思想動搖を傳へられる折柄鐵道當局では極めて神經過敏になり極祕裡に調査を進めてゐる

理髮の合理化

美術…衞生…スピード化
スタイル斷然三一年形
サービス一二〇%
モツトー斷然御客樣本位
料金最低
設備の合理化電氣應用
常に時代のトツプを切り更新の店……御理髮の御用は是非當店へ
大山通正隆銀行前
衞生軒總本店
電話七四一八番

球磨川產の 若鮎獻上
生きた儘で

【東京十三日發】熊本縣八代郡太田郷村(?)齋藤濤(?)氏は同縣球磨川で取れた長さ七、八寸の生きた若鮎三十尾を十三日長き邊に獻上した、同獻上の鮎は同人代理竹下嘉一氏が十二日午前九時福岡發の水上飛行機にて大阪まで空輸しそれより燕號が東上輸送したが生きた若鮎の獻上は始めてである

報知日米號 シヤナに不時 着水

【東京十三日發】報知日米號は十三日午前六時二分擇捉島內保灣を出發、西海岸コースをとつて飛行したが發動機の調子惡きため內保を去る八十キロのシヤナに不時着水した、機體點檢のうへ十四日朝

デ杯戰出場の 米選手決る

【ニューヨーク十二日發】來る廿一日モントリオールに擧行されるデ杯戰アメリカゾーン二回戰アメリカ對カナダのアメリカ選手はシールヅ、ウツド、サツター、マンギン四選手と決定した

ムロトンに向ふ豫定である

本社參觀

十三日午前十時池田教諭引率の旅順師範學堂生徒男子三十名女子十三名

安樂椅子

大廣場にベビーゴルフが出來た　さき押しつけられた切符の處分に困つて「まあ一度」と出掛けたのが病みつきとなつて今では同ゴルフ場の主のやうに毎日晝休みに一ラウンドだけクラブを振に出掛ける人に小川滿鐵販賣部次長がゐる。

……◇……

今から星ケ浦のリンクで始めても到底他の連中に及ばないと觀念したか天晴れベビーゴルフのナンバーワンになる覺悟で練習を始めたが技これと伴はずとでも言ふのか成績は決して香んばしくないらしい。

……◇……

先日もなる可く下手な所をと物色してか寶珠山、岸氏らあたりを遠慮して中村運輸、弟子丸兩主任を誘惑して出掛けたは好いが中村主任のハンデキヤツプ十五に對し御自身は三十三と慘敗、喰はれて止めたのは喰はされた弟子丸主任、ハンデキヤツプ七十八と言ふ慘々の成績で殊に第十五ホールでは廿五ストロークスでやつと及第「俺のレコードを破つてみろ」と威張つてゐたが流石に口惜しかつたと見えてそれ以來斷然クラブを手にしない。

……◇……

ところで若い主任級の上達が早く到底部內だけでもナンバーワンになれさうでないので誰か新手の弟子丸級はゐないかと好新手物色中（寫眞はベビーゴルフ黨の小川さん）

債券相場

回別	賣値	買値
[illegible]	[illegible]	[illegible]

回別	割引廿圓券	復興十圓券	同五圓券
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲本相場表五月廿　日迄、●印は六月一日抽籤

虹と兜虫 (125)

龍膽寺雄作　一木弴畫

鎧武者(二六)

ところで、──その時兜は?、欲は人眼を避けてこつそり三重塔へ降りて、そのぐるりへ群らがつた花見客の間にまぎれ込まうとして、ひよッこり浮浪少年仲間の一方の腕きゝである十三郎らに思ひがけず聲をかけられたんです。

「なアんでえ!」

意外さいふ顔をして、兜はつれ立つて、小暗い欅の樹蔭に十三郎と相對するんでした。

「いつ來たんだい?」

「今だ」

十三郎は中學生の樣な紺飛白の袖で額の汗を拭くんです。

「ガラメキから笠村へ廻つて、大急行で街へ歸つて來たんだがね。風が無くなッちまつたんで、ヨットが動かないでれ」

さうして、兜さ濯さた顔みてなつッこく笑つて、

「汗かいちやつた!」

「何かそんな大急ぎの用事でもあつたのかい?」

「うん」

十三郎はもう一度襟の邊の汗を拭つて、

「瘤太の野郎昨夜のうちにお菊をつれてガラメキからズラかりアがつてれ。野郎街へ戻つて來れえで笠村へかくれアがつたんだ!、そして、笠村の仲間を頼つてあすこでお菊を金にしようとしたらしいんだな。その金額の折合ひがつかなかつたんで、自分で多胡までお菊、ショピいて行くつもりで、夕方モオタ船を仕立てゝ、そいつへお菊を乘せて海へ出ちまつたんだ」

「笠村?」

兜はこれも一本出し拔かれたさ言つた面持で、創痕だらけの十三郎の顔を見るんです。

「畜生!……何だつてあんな方へ廻りアがつたらう?」

「だからさ。瘤太の野郎笠村でお菊を手輕に仲間に讓つちまはうつて肚だつたんだらう。それがうまく行かなかつたんで、さ言つて街へまた戻つて來るのはちよいと厄介だし、あすこからぢかに船を仕立てさせたんだ。な。乘又ツてえ隱賊、網元をしてるゴロッキの處から漁船を出して、何でもお菊とも四人乘り込んで六時頃だッたつてこゝまではわかつてるんだ」

「お前がつきとめたんぢやれえだらう?」

「うん」

十三郎は肯くんです。

「リキ藏の野郎を念の爲ガラメキから笠村へ廻して調べさしたのさ。そしたら野郎さぐつてびつくりして戻つて知らせたんだ」

フン。

「今幾時だい?」

兜は腕を組むんです。

十三郎は腕時計をちよいと覗くんです。

「九時半だ」

「多胡行の船はもう出ちやつたな?」

「もう間に合ふめえ」

──滿街の棧橋からは毎晩九時に、牛島の沿海廻りの汽船が出て、黎明前にそれが多胡にもよる慣はしになつてるんです。

「笠村から氣をきかして、リキ藏の野郎船を出して、瘤太を追ッかけてみるとよかつたんだけれど」

十三郎がつぶやくと、兜は腕をふぐして、

「いや、リキ藏ぢや駄目だ。相手は四人だ向ふへ廻して喧嘩も出來ねえ。……畜生!いやにこちとら出し拔いたりしアがつて、癪だな」

「さうさう。……金狂氣の爺い殺されたッてえぢやねえか?」

「うん」

兜は感慨深く、

「ガラメキへも手を廻してみる樣にッて警察へ耳打はしといたんだが、瘤太に逃げられたとこをみると、大して効もなかつたとみえるな。……」

柳壇

「母」　高橋月南選

母親の氣持ちへ娠られてゐる胎動へ　大連　兒玉凡稚

日に日につのる母性愛　母ちやんになりたくないのベッサリー　大連　海老水母

平熱へ母もいつさき横になり　許嫁母が氣にする美しさ　大連　上河邊紫浪

母さまもうつさり春の柄に醉ひ　國の母孫へ大きな笑ひ顔　坊よりも母喜んだ入學日　旅順　東岳坊

叱られてゐる子に母が目でさとし　無心事先づ母ちやんをわめ置き　母ちやんになつて膽本届けられ　大連　寺山青々庵

ある癖が父に似たりさ母苦にし　若い母一人になるさ獨唱し　鐵嶺　福永珍月

母の泣く女の弱さまだ知らず　結婚の寫眞へ母の深い息　打つた後こつそり母の手が觸れる

新刊紹介

▲發明考案の權利を得る迄(岡田音五郎著)著者は元特許局審査官補の職にありし人にして、忍苦の年を過して漸く完成した發明考案を特許局に出願する手續や、其の權利の保護を受ける手續を知らぬ爲め水泡に歸する事は多々あることで、それを救ひ便せんとする意圖により書かれたもので特許編、實用新案編、意匠編、商標編の四編からなつてゐる、發明考案家に取つては一つの福音書である(價一圓十錢)東京市外代々幡町代々木上原二七七三友社出版部

▲新天地(五月號)滿鐵幹部の「恒久性」問題に就いて數氏が意見を述べ、其の他創作三篇等がある(價三十錢)大連市楠町七四番地新天地社

▲寡鼓(五月號)價五十錢・東京

▲素描の旅(鶴田吾郎著)昨年大連を經て外遊した著者が旅中になれる素描約百點の中から約五十點を撰んで收めた畫集で著者の素描は既に定評があるが茲に集めてある巴里を主として北歐南歐より香港上海に至る間の人物と風景は何れも油繪に見られない素描の味を充分發揮してあつてその印象記と共に雅趣豐である最初に「フインランドの娘」の油繪色刷りが一枚あつて他のコンテ畫は、クリーム色紙二色刷及びアート紙銅版刷り(定價三圓五十錢、東京巢鴨町二ノ四一木星社書院)

▲川柳人(五月號)價二十五錢、東京市外杉並町馬橋五四七柳樽川柳會

第卅五回 滿日勝繼碁戰(勝四回目)

北條氏(三回)　三子　北條力松氏
三段　大礒義夫氏

●二二レの三、處捉る　●一四レの四の處粘ぐ
○二一ワの四　●二二カの三　○二三ルの三　●廿四ルの二
○二五ヌの二　●二六ヌの三　○二七ルの四　●二八リの二
○二九チの八　●三〇ヌの一　○三一ワの二　●三二レの八
○三三レの十　●三四タの九　○三五タの十　●三六カの九
○三七ヨの十　●三八ヨの九　○三九ワの十一　●四〇レの十四

▲清水三段講評　黒廿八選い(い)に下り白(ろ)のとき(は)に約へ白(に)黒(ほ)白(へ)黒(と)白(ち)のとき黒卅一と打つがよろしい黒卅四面白くない卅五に頂け白(り)に綽れれば其時卅四に引て打つがよい黒四〇此場合には猶(ぬ)に飛んで居られればよくない

──【2】──

けふの放送

大連 JQAK

五月十四日午後七時

▲ニュース
▲華語講座(初等科第四十一課)滿鐵學務課　秩父固太郎
▲長唄(菖蒲浴衣)唄三味線仙波夫人、唄三味線中村愛子
▲管絃樂(一)序曲フインガルの洞窟　メルデルゾーン作、(二)交響樂詩　タットラ山にて作品二六番ヴイノウアック作　寶塚シンフオニーオーケストラ、指揮ヨセフ・ラスカ(以下内地中繼七時五十八分)
▲中國唱(烏龍院)唄于艮福、師付王振坎
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK

五月十四日午後六時廿五分

▲六大學野球審判官座談會座長鷲澤與四郎、池田豐、天知俊一、新田恭一、横澤三郎、藤田省三、淺沼譽夫、三宅大助、錢村辰巳

華語初等科

滿鐵學務課　秩父固太郎

等四十一課

(一)1病2有病3請大夫4瞧病5吃藥6上藥7好了8醫院
(二)1怎麼了2病了3怎麼樣4腦袋疼5鬧肚子6現在怎麼樣7好一點兒8還沒好哪
(新字)病請(大)夫(瞧)藥醫疼鬧肚。

利益莫大な農家の副業

不景氣は疲弊せる農村農家をして何かよい副業はないかと血眼にならせてゐる。ところが、こゝに耳寄りな話は三重縣の坂内文藏氏は、農家の副業として極めて有望な養鷄の「新經營法」を、自家實地經驗のまゝ雜誌「雄辯」五月號に發表してゐる。

それによると、氏は自分の農園で種々の副業を集合組織で經營してゐる關係から、養鷄業をより有効に行ふ方法を研究した譯だが、養鷄業で支出の嵩む餌料を無料で得る方法を案出したのだ。即ち從來これさいよ用もなさなかつた畑の緣を利用して、其處に蜀黍を植ゑるのだが、緣の長さが八間あれば親鷄一羽の一年の餌が出來る工夫で、八十間あれば十羽、二百四十間あれば三十羽分の餌代が無料で上り、鷄の産卵の賣上げは丸儲けになるのである。之は同誌の右方法の詳しいことは同誌を讀めばよく呑み込めるが、何にしても斯んな貴重な實際研究を天下に公開されたことは、農家にとつて絕大の福音といふべきであらう。

タイムス・マンスリー

英佛獨露等、語學界の權威として目され、英語單語四〇〇〇、英語基礎熟語、受驗英語新單語、和文英譯單語句、會話練習帳、獨、佛、露單語四〇〇〇、獨逸文法整理ノート等を、引續き出版せる、タイムス出版社にては今回タイムスマンスリーと稱する月刊英語研究機關紙四六倍四頁のものを創刊した創刊號には、英語の流行や、英語學習の方針や、注意すべき要點を記し、同意語と反意語を說明し、號を重ねて他の點を詳說することにして居る。

其他何度も出る試驗問題の研究、和文英譯の公式、Aの用法研究等を揭載し、これを引續き揭載することにして居る。

右マンスリー代價一ケ年二十四錢東京市麴町區有樂町二ノ四タイムス出版社發行、近頃珍らしき試みであり、引續き通讀すると知らず〳〵の間に、語學の要項を會得することゝなることは疑問の餘地がない。